

未来の自分発見

Komatsu
University
2024



公立小松大学

こまづから、未来へ。

公立小松大学校歌

光より速きわれら

なかにし 礼作詩
千住 明 作曲

見よ 白山の頂を
 はくさん いただき
 若き 飛躍の舞台なり
 ひやぐ
 学びの時を 愉しく修め
 おさ
 いざ羽ばたかん 自由の翼
 つばき
 世界は広し ならばなお
 翔びゆけわれら！ 光より速く！
 公立小松 小松大学

海 永遠の時を打つ
若き 希望も無限なり
果てなき空に ゆるがぬ意志で
描け七色の 調和の虹を
理想は遠し ならばなお
挑めよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

この命こそ 奇跡なり
汝^{なんじ} 自身を 知りつくせ
高みに上り 高みを越えて
いざ身に浴びん 叡智^{えいち}の景色
真理は深し ならばなお
極めよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

[illegible]

プロローグ ■

大学設立の趣旨	03
理事長・学長 挨拶	05
副学長等 / 校歌	07
理事等 / シンボルマーク	08

学部 ■

基本理念 / 教育理念	09
教育の流れ / 共通教育科目	11
生産システム科学部 生産システム科学科	13
保健医療学部 看護学科	17
保健医療学部 臨床工学科	21
国際文化交流学部 国際文化交流学科	25
学部入試情報	29

大学学院 ■

サステナブルシステム科学研究科	
基本理念 / 教育理念	31
生産システム科学専攻	33
ヘルスケアシステム科学専攻	34
グローバル文化科学専攻	35
大学院入試情報	36

キャンパスライフ

教員の研究内容	37
国際交流	39
課外活動	40
就職支援 / 学生支援	41
学納金・奨学金 / 学生寮	43

キャンパスガイド

キャンパス概要 44

小松市紹介／キャンパスマップ 45

少子高齢化、グローバル化、技術革新など
私たちを取り巻く社会や環境はめまぐるしく変化しています。

公立小松大学は、そのような急速に変化する
社会のニーズに的確に応えていくため、2018年4月に開学しました。
小松短期大学とこまつ看護学校にゆかりをもつ
「生産システム科学部 生産システム科学科」、
「保健医療学部 看護学科・臨床工学科」、
「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の3学部4学科からなります。

本学では、4年間の教育課程の中で、高度な専門知識・能力だけでなく、
変化に富む現代社会において活躍するための基盤となる豊かな教養と
多角的な視野で物事を捉える力を身につけます。

さらに、2022年4月に、地域・国際社会の持続可能性と
その実現につながるシステム構築を担いうる人材育成を目指し、
「生産システム科学専攻」、
「ヘルスケアシステム科学専攻」、
「グローバル文化学専攻」の3専攻からなる
大学院サステイナブルシステム科学研究科を開設しました。

本学ではこれからも、
地域の企業・自治体や人々と連携する教育を展開し、
様々な人々との出会いや交流を通して、
豊かな人間性と
人と関わりながら仕事を進める能力を育み、
地域(Local)と世界(Global)の将来を見据え活躍できる
グローバル(Glocal)人材を育成します。

粟津キャンパス

末広キャンパス

中央キャンパス
(こまつアズスクエア 2・3 階)

JR 小松駅

学びを通し、内なる宝を磨き、自らと社会の未来を拓く

みなさま、公立小松大学の大学案内をご覧ください。どうか、ゆっくりお目通し下さい。

平成30年4月に開学した公立小松大学は、今年、第二期の卒業生を送り出し、6度目の入学生を迎えました。これまでの卒業生は100パーセントの就職内定率で、全員それぞれ活躍の場を得ており、また、多くの若い方々に本学入学を志して頂いていることは、誠に有り難く、ここに至るまでの大学運営に、小松市当局や議員各位、市民の皆様、石川県当局、関係団体や県内各市町の方々、連携する諸大学や多くの協力企業の皆様、そして関係諸官庁から、力強いご支援、ご高配を賜りました。厚く御礼申し上げます。

公立小松大学は、創立以来、地域で、全国で、そして世界のどこでも活動しうる人材を育てるべく、全力を挙げて参りました。しかし、開学2年未満で世を覆いはじめたコロナ禍によって、活動形態の変更を余儀なくされました。そんな中で、学生達の熱意と教職員挙げでの懸命な対応と多くの皆様の温かいご支援で、適宜遠隔授業を取り入れることなどによって、目標とする教育研究水準を維持しえたのは、本当に有り難く存じております。

また、昨年度開設した大学院サステナブルシステム研究科も、順調に研究教育を続けております。詳細はこのパンフレットに記載するとおりですが、この大学院は、既存の3学部いずれにも繋っており、若い人達が、持続可能な経済社会の発展に大きな役割を果たしうる専門性の高い能力を身に付けるように構成されており、現在、さらなる充実を企図しております。

江戸時代の先人達が苦心して創り上げた小松学問所の伝統が脈打つこの地で教育研究活動に邁進する公立小松大学は、先達の心を現代に生かすよう努力して、その成果を全国と世界に向けて発信し、この世が求める人材を送り出し続けて参ります。今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。

理事長

石田 寛人

略 歴

昭和 16年 東京都生まれ（小松市出身）
昭和 39年 東京大学工学部原子力工学科卒業
昭和 39年 科学技術庁入庁
昭和 43年 米国イリノイ大学大学院留学
平成 3年 科学技術庁原子力局長
平成 7年 科学技術事務次官
平成 11年 駐チェコ共和国特命全權大使
平成 16年 金沢学院大学学長、金沢学院短期大学学長
平成 23年 公益財団法人 本田財団理事長（在任中）
平成 26年 公益財団法人 前田育徳会理事長（在任中）
平成 30年 公立大学法人 公立小松大学理事長



学 長

山 本 博

略 歴

昭和 24年 小松市生まれ
昭和 50年 金沢大学医学部卒業
昭和 53年 富山医科薬科大学医学部助手
昭和 60年 東北大学医学部助教授
平成 2年 金沢大学医学部教授
平成 26年 金沢大学理事（国際・附属病院・同窓会担当）
同副学長
平成 30年 公立小松大学長



オープンチーム・サイエンスの時代の大学と学び

‘Do you believe in the human heart? I’m speaking in the poetic sense. Something that makes each of us special and individual’

これは、ノーベル文学賞作家Kazuo Ishiguroの近作 *KLARA AND THE SUN* (Faber & Faber Limited, 2021) で、人間が主人公のKlaraに尋ねる質問です。彼女の応えは、‘Yes, certainly.’ 人の心がわかるAIとしてKlaraは描かれます。もう一人の主人公は The sun. 太陽です。Klaraは太陽から栄養を得ますが、Klaraの心からの希いと献身により、太陽はKlaraの友だちJosieの病いを治します。この作品には、ですから、人工と自然があり、また、西洋が舞台の英文小説ですが、行間には東洋的なものも漂います。日本人読者にとっては、The sunを「お天道さま」と訳したくなる部分さえあります。

このあいさつ文を カズオ・イシグロ ではじめましたのは、大学では何らかの専門を軸としつつも、理・文系を問わず、さまざまことに関心をもって学んでほしいと考えるからです。地域や世界が抱える諸課題を解決するには、社会経済的な利害や立場、価値観のちがいを超え、多様な専門知と多角的なアプローチを結集させた協働が求められます。オープンチーム・サイエンスとは、大学が市民とともに参加する、このような取り組みを指します。

公立小松大学は、理系、文系、医系の3つの学部・専攻を擁し、学士課程でも大学院でも分野の垣根を超えた連携、交流を行って多様な専門知を備えた人材を養成するとともに、オープンチーム・サイエンスの拠点として地域・国際社会への貢献を図ります。

前途有為の皆さんのご入学をお待ちいたします。

副学長

理事
副学長（教育担当）

横川 善正



副学長（研究担当）
サステイナブルシステム
科学研究科長

木村 繁男



学部長・学科長・専攻長

生産システム科学部長
生産システム科学専攻長

岩田 佳雄



生産システム科学科長

酒井 忍



保健医療学部長代行

山本 博〈学長〉



看護学科長

徳田 真由美



臨床工学科長
ヘルスケアシステム科学
専攻長代行

平山 順



国際文化交流学部長
グローバル文化学専攻長

岡村 徹



国際文化交流学科長

杓谷 茂樹



理事・監事	氏名	職業	担当分野
理事長	石田 寛人		
副理事長	山本 博	学長	
理事	横川 善正	副学長	教育
理事	千葉 正	事務局長	総務・財務
理事	森 久規		地域連携
理事	西 正次	小松商工会議所会頭	産業界連携
理事	鈴木 康夫	株式会社Bizitsパートナーズ 代表取締役社長	NextStage
監事	松本 哲哉	弁護士	
監事	能登 宏和	税理士	

客員教授・特任教授	氏名	職業	担当分野
顧問 アドバイザー・フェロー	林 勇二郎		
クリエイティブ・フェロー	黒本 和憲	コマツ顧問	
アドバイザー・フェロー	横本 美津子	コマツ常務執行役員	
客員教授	高橋 泰	国際医療福祉大学 教授	
客員教授	田嶋 伸博	(株)タジマモーター コーポレーション	
客員教授	矢部 彰	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)技術戦略研究センター サステナブルエネルギーユニット フェロー	
客員教授	Adrian Bejan	Department of Mechanical Engineering and Materials Science Duke University J.A.Jones Distinguished Professor	
客員教授	加藤 浩晃	デジタルハリウッド大学大学院 特任教授 東京医科歯科大学医学部 臨床教授	
客員教授	Andrew W. Woods	Department of Earth Sciences Institute of Energy and Environmental Flows, University of Cambridge Professor Director of Institute for Energy and Environmental Flows	
特任教授	榊本 博之	B-Bridge International CEO	国際・地域連携
特任教授	真田 茂		国際・地域連携
特任教授	井関 尚一		保健医療
特任教授	盛永 審一郎		大学院
特任准教授	野口 淳		大学院
特任准教授	村野 正景		大学院
特任教授	富澤 淳		産官学連携
特任教授	谷内 正立		産官学連携
特任教授	林 潔		産官学連携
特任教授	川上 文清		産官学連携
特任教授	岸本 昌子		国際交流・日本語教育
特任教授	村上 洋子		国際交流・日本語教育
特任講師	北村 ピニダ		国際交流・日本語教育

大学校歌「光より速きわれら」

大学校歌は、日本を代表する作詞家なかにし礼さん、作曲家千住明さんのお二人が、大学創設にかける市民や関係者の熱い思いに共感し、手がけられました。「一瞬一瞬、誰にも負けず、光より早く前進する気持ちであってほしい」というエールが込められています。(P01 参照)

作 詩 なかにし 礼

1938年生まれ。立教大学文学部仏文科卒業。作詞家として「石狩挽歌」「時には娼婦のように」他多くのヒット曲を生み「天使の誘惑」「今日でお別れ」「北酒場」で日本レコード大賞を3回受賞。他にも日本作詩大賞など受賞歴多数。2000年、小説『長崎ぶらぶら節』で直木賞を受賞。2020年12月逝去。

作 曲 千住 明

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院を首席で修了。作曲家・編曲家・音楽プロデューサーとしてグローバルに活躍。'97年第20回、'99年第22回、'04年第27回日本アカデミー賞優秀音楽賞等受賞歴多数。東京藝術大学特任教授。東京音楽大学特別招聘教授。



シンボルマークについて

シンボルマークは、山崎直子氏（宇宙飛行士）の監修によるものです。

「知性や精神を表す青色」と「安定や無限を表す黒色」は、本学の目指す「こまつから未来へ」という方向を示しています。そして、宇宙の中を廻る青く輝く地球を連想させるものでもあります。

基本理念

地域と世界で活躍する人間性豊かなグローバル人材を育成する大学
 持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を革新し、異文化交流を推進する大学
 地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

本学は、基本理念に共感し、
 十分な基礎学力とともに、
 次のような資質を有する学生を求めます。

学習意欲と探求心を持って自己実現を目指す人

豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に
 寄与しようと努力する人

社会が抱える問題について主体的に学び、
 その解決に取り組む意欲のある人



教育の特色

本学は、国際社会で通用する能力や
 グローバルな視点・経験を有し、
 地域の活性化や
 持続的発展に貢献できるグローバル人材を
 養成するための教育を実施します。

学部学科構成

学部	学科	コース	定員
生産システム科学部	生産システム科学科	生産機械コース	80
		知能機械コース	
保健医療学部	看護学科		50
	臨床工学科		30
国際文化交流学部	国際文化交流学科	国際観光・地域創生コース	80
		グローバルスタディーズコース	
合計			240

教育理念

確かな基礎知識と高度な専門能力の修得に向けた主体的な学びと組織的な教育
 人間・社会・自然と科学技術の発展を総合的に捉える先駆的な科学教育
 人間性豊かな市民、応用力のある専門職業人、グローバル人材を育成する地域と協働した教育

教育の流れ

共通教育科目は全学部ともに中央キャンパスで学びます。

4年間の学修で共通教育科目、専門基礎科目、専門科目を段階的に履修し、幅広い教養と専門知識を身につけます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	共通教育	専門教育		
生産システム科学部	中央キャンパス	栗津キャンパス		
保健医療学部		末広キャンパス		
国際文化交流学部		中央キャンパス		
カリキュラム	共通教育科目			
	幅広い知識、洞察力、思考力、理解力を養い、専門分野を学ぶ上で必要となる素養を身につけます。			
	専門基礎科目			
	共通教育科目を通じて修得した幅広い教養と、論理的思考力を土台として、専門教育の基礎となる知識、能力を身につけます。			
			専門科目	
			専門的な能力の習得と同時に、実習や卒業課題を通じて自らの学びが社会でどのようにつながるかを認識させることで、学びへの主体的な姿勢を維持し質の高い大学教育を実現します。	

共通教育科目



幅広い教養と基礎的能力、豊かな人間性を培います。

全学部共通で基礎となる知識、能力を確実に身につけるために必要となる幅広い知識、洞察力、思考力、理解力を養います。これらの能力を獲得するための幅広い分野の科目を「導入科目」、「一般科目」、「英語科目」、「その他外国語科目」の4つのカテゴリに分類しています。異なる学問分野の学生が同じ空間で学習し、交流することで、自身の専門分野を取り巻く状況を広く理解し、専門教育に多面的な角度から取り組むための視野と思考力を育むことを目指します。

導入科目

大学での学修をスタートさせるにあたって必要となる基礎知識やスキル、キャリアデザインを学びます。

アカデミック・スキルズ/ キャリアデザイン・チーム論/ 基礎ゼミ/ 南加賀の歴史と文化 など

大学での学修の基礎となる集団討論・情報収集・整理・文章作成に関する多面的なスキルを修得します。グループワークによるプレゼンテーションの作成・発表などアクティブラーニングを取り入れています。

一般科目

幅広い教養と豊かな人間性を養成します。

人間力

人間の思考や行動、文化について学び、コミュニケーション能力、表現力の養成を通じて豊かな人間性と国際的な視野を養います。

哲学 / 心理学 / 日本の伝統芸能 / 文化人類学 / 医療と文化 / 文章表現法 / 言葉と文化 など

社会力

政治、経済、法などの社会システムに関する基礎知識を学び、成熟した社会を構成する一員としての倫理観と社会全体を広く捉える能力を身につけます。

日本産業史 / 自然資源と環境問題 / 経済学 / 政治学 / 社会学 / 公共政策論 / 社会福祉論 など

科学力

科学技術の発展による生命、環境、エネルギーの進歩や高度情報化に関して学び、社会の発展がもたらす恩恵と今後の課題について、未来の社会のためのより良い選択肢を科学的知見に立って検証・分析を行うことで、課題解決のための合理的、批判的思考力を養います。

現代科学技術論 / クリティカルシンキング / データ科学と社会 / 情報処理応用 / 統計学 など

諸科学が現代科学技術のなかでどのように役立っているかを理解します。さらにSDGs (Sustainable Development Goals) の中に掲げられた個々の目標と地球環境、地方創生等との関わりについて理解を深めます。

健康と体力

自らの健康に対する理解を深め、生涯を通じてスポーツや健康づくりを楽しむための意識を涵養します。また、団体競技を中心に取り組むことで協調性とコミュニケーション能力の向上を図ります。

健康と体の科学 / スポーツ演習 (バレーボール、硬式テニス、フットサル、卓球、バドミントン)

英語科目

国際社会のコミュニケーションツールとして多くの場面で必要とされる英語を必修科目として学ぶことで、実践的運用能力を確実に身につけます。

その他外国語科目

中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語から選択し、基本的な文法とコミュニケーション能力の修得を目指します。

(専門基礎科目・専門科目に関する詳細は各学科の紹介ページをご覧ください。)

生産システム科学科 粟津キャンパス 80名

Department of Production Systems Engineering and Sciences



機械、電気、情報の専門分野を
融合した総合力を身につけ、
持続可能なものづくりを実現する。

学科概要と特色

本学科は、機械工学を中心に、電気・電子工学、情報工学の専門知識・能力を幅広く身につけ、地域社会と世界の持続的発展に貢献する人材を育成することを目的としています。現在クラウドなどの情報通信技術を活用したものづくりが進展しており、このような変化に対応するためには、幅広い分野を組み合わせることで考えることができる人材が必要とされています。本学科では、1年次～2年次前期まで数学や物理学、プログラミングなどの工学全般に関連する基礎学力を身につけます。2年次後期から、設計・加工、電気を学ぶ「生産機械コース」と情報と人工知能を学ぶ「知能機械コース」に分かれて、より専門的な能力を身につけます。ただし、コースを越えて幅広く学ぶこともできます。

□ 生産機械コース

環境に配慮した生産システムを実現するために必要なエネルギーや材料、設計、加工、電気機器に関する知識を修得できます。さらに3D CADやシミュレーションツールを用いた機械の設計技術を身につけます。

□ 知能機械コース

情報通信技術を活用したものづくりを実現するために必要な情報科学、計算機、人工知能に関する専門知識を総合的に修得できます。また、人工知能モデルの構築に必要なプログラミング技術や情報処理技術を身につけます。



4年生が学科の魅力を語るPR動画公開中



養成する人材像

- 南加賀地域における知の拠点として、地域に確固たる軸足を置きながら、現代社会全体が直面している地球環境と高度情報化社会などの世界的課題の解決に向け、機械工学と電気・電子工学、情報工学の分野の専門知識・能力を広く修得した人材
- 自然及び社会と共生する生産システムの構築によりサステナブル（持続可能な）社会の実現に資する事ができる人材
- 地域社会と世界の持続的発展に向けた生産システム構築に関し、広い視野と高度な実践的スキルをあわせもった地域と世界に貢献できる人材

地域と世界の産業に貢献しようとする 次のような学生を求めます。

- 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人
- サステナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人
- 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人

学外技術体験実習（3年次開講）

生産システム科学科では、3年次に必修科目として「学外技術体験実習」を設けており、インターンシップに相当する経験を積むことができます。地域企業が行っているものづくりの製品が生み出される過程を体験することで、実践的な技術者としての能力を高めることができます。

取得 学位

卒業までに定められた単位を取得し、本学科が養成する人材像の実現に必要な知識・技術・能力を修得した者に、学士（工学）を授与します。

卒業要件単位数：124単位以上

Student's Voice

学生インタビュー

幅広い分野の講義で、 視野が広がる

もともと情報系の分野に興味があったのですが、機械系の講義を通して機械操作や部品加工等の面白みにも気づくことができ、自分の視野や興味の幅が広がったように思います。
3年次になると、3・4年合同の課題研究などがあり、上級生とのつながりができます。先輩方は優しい方ばかりで、レポートの書き方や研究室の情報等、たくさん教えていただきました。
休日は車で関西の方まで出掛けて大好きなお笑いを見に行っています。関西方面へのアクセスの良さも、魅力だと思います。

西田 柚葵 さん

生産システム科学科 4年 知能機械コース

自分の好きな研究に 思う存分打ち込める

小さい頃から電気について興味があり、「生産機械コース」を選択しましたが、講義を通して「人工知能」の分野にも魅力を感じ、今はAIを使った機械開発の研究に打ち込んでいます。コースを問わず、自分の好きな分野の研究ができるのは、この大学の魅力の一つだと思います。研究ではプログラミングの知識も必要で、理解するのに苦労していますが、難しいからこそ楽しく、やりがいがあります。先生はもちろん、友達も研究や課題の相談に乗ってくれるので、ありがたい限りです。

長谷川 義高 さん

生産システム科学科 4年 生産機械コース



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス		栗津キャンパス	
共通教育科目	データ科学と社会／情報処理基礎／英語／統計学 など			
専門教育科目	専門基礎科目 応用物理学／材料力学／工業熱力学／流れ学／振動工学／電気回路 など			
	専門科目 プログラミング／機械材料学／電子回路／環境適合技術論／インテリジェント生産システム など			
		専門共通科目 生産技術／機械設計製図／機械工作実習 など		
		生産機械コース 機械加工学／地球環境と環境流体 など		
		知能機械コース 人工知能／センサと通信 など		
				卒業研究

4年間の学修の流れ

〈1年次〉

導入科目、一般科目等の共通教育科目を修得します。さらに専門基礎科目を通じて、「数学」や「物理学」、「化学」、「プログラミング」などの工学全般に関連する基礎学力を身につけます。

〈2年次〉

「機械をつくる・動かす」ために必要な基礎学問である4力「材料力学」、「工業熱力学」、「流れ学」、「振動工学」に加えて、機械や社会に欠かせない「電気回路」を修得し、ものづくりに必要な基礎力を身につけます。

〈3年次〉

情報通信技術を活用したものづくりに必要な情報工学と人工知能を学びます。機械電気系の実験の結果を報告書にまとめるプロセスを通じて、現象を科学的に分析する高度な能力を身につけます。

〈4年次〉

4年間の集大成として、卒業研究に取り組みます。最先端のプラント・エネルギー、材料、加工、設計、電気・電子、情報、人工知能、データ科学に取り組む研究チームがあります。また地域企業との共同研究を通じた産学連携プロジェクトも盛んです。これらの活動を通じて、高度な専門知識と、課題解決力を身につけます。

代表的科目

■ プログラミング 〈1年次〉

C言語による基礎的なプログラミング技法と関連する知識を習得します。

■ 機械の4力 〈2年次〉

「材料力学」「工業熱力学」「流れ学」「振動工学」

機械を設計、開発する上で不可欠な力学系の科目で、機械を構成する部材の強度・変形、熱の移動や流体の運動、および機械の動的な運動の制御などについて学びます。

■ 電気回路 〈2年次〉

電気エネルギーの輸送と制御は、機械や社会に不可欠なものです。直流回路、交流回路ならびに過渡現象の解析方法について学びます。

■ 機械設計製図 〈3年次〉

機械の設計、製作に不可欠な機械図面の描き方、コンピュータを用いた製図(CAD)の習得を行います。

〈生産機械コース〉

■ 機械加工学

機器製品は種々の材質と形状からなる多数の部品から構成されます。これらの部品を作成するための加工方法を学びます。

〈知能機械コース〉

■ 人工知能

人工知能の定義、人工知能による処理手続、人工知能の用途と背景について学びます。

学科の学びが活かせる職種

生産システム科学科で学んだことは、機械技術者・研究者、ロボット開発・設計技術者、自動車開発・設計者、情報処理技術者・研究者、AIエンジニア、プログラマ、システムエンジニア、組み込みエンジニア、電子機器技術者・研究者など、多岐にわたる職種で役立ててことができます。



Department of Production Systems Engineering and Sciences

卒業後の進路

※円グラフデータは2022年度卒業生の実績です。
※主な就職先・進学先は、2021・2022年度の実績です。

主な就職先

着色は大学協力企業

- 製造業 ▶ (株)アイ・オー・データ機器
加賀東芝エレクトロニクス(株)
(株)小林製作所
小松ウオール工業(株)
コマツNTC(株)
- 情報通信業 ▶ (株)PFU
アイシン・ソフトウェア(株)
(株)NTTデータNJK
立山科学グループ
- 電気・ガス ▶ 東京電力ホールディングス(株)
- サービス業 ▶ 小松商工会議所
- 運輸業 ▶ 日本貨物鉄道(株)(JR貨物)
- 卸売・小売業 ▶ 丸文通商(株)
- 公務 ▶ 福井県庁

主な進学先

- 公立小松大学大学院
金沢大学大学院
北陸先端科学技術大学院大学
- 富山大学大学院
福井大学大学院
- 名古屋大学大学院
横浜国立大学大学院

全就職先・進学先一覧



卒業生の声

卒業生の声

中橋 謙介 さん
2023年3月 生産システム科学科卒



就職先 ▶ 三菱電機(株)

大好きな「ものづくり」に携わる仕事を通して社会貢献したいと考え、多様なものづくり事業を展開する企業への就職を決めました。

大学生活では趣味である音楽を題材に、AIを用いた音響分離に関する採譜(音源を楽譜に起こすこと)の研究に打ち込みました。また軽音サークルの活動にも力を入れ、サークル長として部員集めや地域イベントへの参画などを積極的に行いました。こうして大学で頑張ってきたことが自分の強みとなり、就職面接でも自信を持って自分をPRできたと思います。

社会に出ても、目標に向かって周りと協力し合いながら高め合い、より良い製品を生み出していければと考えています。

志村 魁哉 さん
2023年3月 生産システム科学科卒



進学先 ▶ 名古屋大学大学院工学研究科

より高いレベルで学びを深め、新しいことにもチャレンジしたいと考え、大学院の道に進むことを決めました。各大学院のWebサイトを調べたり、オンラインでの研究室紹介に参加したりして、進学先を固めました。試験勉強については、先生も相談に乗ってくれたり、随時進捗状況を確認したりしてくれるなど、いろいろとサポートいただきました。

公立小松大学では、広く様々な分野を学ぶ機会があったことから、その中から自分の興味のある分野を見つけ、主体的に学ぶ力を養うことができたと感じます。今後も大学での学びを活かしつつ、知識を深めていきたいです。

看護学科

末広キャンパス 50名

Department of Nursing



人の心身の痛みに寄り添い、
望ましい看護ケアを提供するための
知識・技術を身につける。

学科概要と特色

本学科では、「看護師」の国家試験受験資格と合わせて、人々が健康な生活を送れるよう保健活動を行う「保健師」の国家試験受験資格も選択制で取得することができます。保健師は地域の保健センターや保健所、企業などで活動しますが、病院や診療所などの医療機関で保健師資格を持った看護師として活躍することもできます。

保健師課程の選択は、25名まで可能で、2年終了時に行います。なお、編入制度は設けていません。

小松市の設置による看護系大学

日本には約300の看護系の大学が存在し、設置主体は、私立が7割と圧倒的に多く、国公立は3割程度です。中でも市立大学は少数であり、そのほとんどが大都市に設置されています。公立小松大学の設置主体である小松市は商業施設や病院、交通インフラが整備されたコンパクト・シティで学生が学びやすい環境です。コンパクト・シティの特性を生かし、地域の皆さんと協働というコンセプトの下で学生を育てています。

将来のパートナーと共に（臨床工学科との連携）

1年次の医学系の授業などは、臨床工学科の学生と共に同じ教育を実施します。4年次には、両学科の学生が協働し、看護学と臨床工学それぞれの視点から、看護、そして医療の未来を考え、創出する学修を行います。看護師と臨床工学技士は将来の強力なチームメンバーです。

定員50名

看護系の大学定員は40名～200名と幅広く、9割以上の大学が50名より多い募集人員としています。本学科の定員はわずか50名であり、看護学科専門課程の授業は教員を身近に感じ学修するとともに、実習においても教員の指導が行き届く環境にあります。本学科は、学生一人ひとりを大切に丁寧な教育をしています。

末広キャンパスは地域の健康を担う中核

末広キャンパスは、実習施設となる小松市民病院やすこやかセンターに隣接しています。また、キャンパスには一般の方々も利用できる食堂などもあり、教育の場にとどまらず、地域の皆さんが集い、交流が生まれるコミュニティの場となっています。



養成する人材像

人の心身の痛みに寄り添い、その人にとって望ましい看護ケアを提供する看護専門職業人の養成。

日本は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しています。今こそ、看護師は病院の中だけの看護にとどまらず、地域全体を視て、シニア世代が住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けていけるよう、ますます活躍していかなければなりません。本学科では、人びとの健康回復、疾病予防、健康の維持・増進について、幅広くきめ細やかに支援できる看護師の養成を行い、「その人」がより豊かで、より幸せな人生を送ることができる地域医療の充実に貢献できる人材を創出します。

本学科は、次の3つすべてを併せ持つ学生を求めます。

- 人間そして人びとの健康問題に関心を持ち、看護師または保健師として、地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
- 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人
- 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人



4年生が学科の魅力を語るPR動画公開中

取得学位

卒業までに定められた単位を取得し、本学科が養成する人材像の実現に必要な知識・技術・能力を修得した者に、学士（看護学）を授与します。

卒業要件単位数：看護師 128単位以上
看護師・保健師 146単位以上

Student's Voice

学生インタビュー

「看護師ってこんなイメージ…」じゃなかった！

看護師と言えば、病棟で患者さんに寄り添って…というイメージが強かったのですが、在宅看護やHCU（高度治療室）で働く看護師など、「看護」と一口で言っても様々な領域があることを知り、自分が抱いていた固定観念が面白い意味で打ち破られました。今は、最新の手術や術式などに興味があり、手術室の看護師を目指しています。

同じ学年に男子は3人しかいませんが、なんでも相談し合える大切な存在です。先生も親身に教えてくださるので、多くの人に支えられながら、有意義な大学生活を送っています。

坂口 堅蔵 さん
看護学科 4年

多角的な視点で患者さんと向き合える看護師に

医療を通して人と関わる仕事がしたいと考え、看護学科を志望しました。講義内容は面白く興味深いものばかりで、入学当初より看護師を志す気持ちが強くなりました。講義では、グループでディスカッションしたり、発表したりする機会が多く、自然とどの学生とも仲良くなります。

私は保健師の国家資格も取ることができる保健師養成課程を選択したのですが、「予防」の観点から人を見る保健師の視点はまた新鮮で、科目数は多いですが選択してよかったと思っています。

辻口 詩乃 さん
看護学科 4年（保健師養成課程選択）

Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス		末広キャンパス	
共通教育科目	心理学／日本国憲法／英語／クリティカルシンキング など			
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ 生理学 など			
	人の健康問題を考えるステージ 認知症ケア論／生活習慣病論 など			
専門科目	看護とは何かを理解するステージ 市民健康論／看護倫理／基礎看護学／精神保健看護学 など			
	看護ケア能力を育てるステージ 老年看護学／成人看護学／母性看護学／小児看護学 など			
	看護ケア能力を拡げるステージ 地域・在宅看護論／公衆衛生看護学／看護統合 など			
			● 保健師養成課程選択	看護の未来を共創するステージ 卒業研究 看護熟練の技科目群／看護未来創出科目群など

4年間の学修の流れ

入学後1年間は、他学部・他学科の学生と共に幅広い教養を身につけるための共通教育科目を履修します。あわせて、専門基礎科目を履修していきます。専門教育は6つのステージに分かれ、1年次から段階的に履修していきます。

人の身体と心を知るステージ〈1年次〉

基礎医学系の科目を学び、看護の対象となる「人」の身体と心を知り、看護学を修得するための基礎づくりをします。7科目のうち、解剖学、生理学、病理学、感染免疫学、薬理学の5科目は臨床工学科の学生と共に履修する連携科目です。

人の健康問題を考えるステージ〈1・2年次〉

臨床医学系の科目を学び、看護の主な対象となる「身体的・精神的・社会的健康問題を抱える人」について考え、看護ケアを提供するための基礎的な知識・能力を修得します。健康問題の中でも最重要となる生活習慣病、メンタルヘルス不調、認知症に関して学ぶことができる科目を設けています。

看護とは何かを理解するステージ〈1・2・3年次〉

基礎看護学に関する科目（講義→演習→実習）を学び、根拠に基づいた看護ケアを実践するための看護基礎能力を修得します。特に「市民健康論」により、将来どのような役割が看護師に求められるのかを理解します。また、心のケアを考える精神保健看護学に関する科目を早い時期に履修し、「看護倫理」や「看護の品格育成論」と併せて、ヒューマンケアの基本に関する実践能力を修得します。

実習について

実習は1年次から始まります。3年次に入ると、年間を通した実習期間となります。学生はグループに分かれ、各看護学の実習を順次行っていきます。4年次にはそれまでの看護学の学びを統合して学修できるようにした看護統合実習があります。また、保健師養成課程の学生は、公衆衛生看護学に関する実習を引き続き行います。

〈主な実習施設〉小松市民病院をはじめ、小松市・南加賀地域の病院、介護老人保健施設、社会福祉法人、保育所、訪問看護ステーションなどで行います。

※保健師養成課程の学生は、小松市すこやかセンター、南加賀保健福祉センター、市内の企業、小・中・高等学校等においても、実習を行います。

看護ケア能力を育てるステージ〈2・3年次〉

先のステージにおいて看護することの全体像を描くことができた後は、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学に関する科目（講義→演習→実習）を学び、特定の健康課題を持つ人に対して看護ケアが提供できる実践能力を修得します。

看護ケア能力を拡げるステージ〈2・3・4年次〉

将来的に看護の実践能力を病院から地域へと、より拡げる必要があります。そのため、学んできた看護学を統合する地域・在宅看護論、公衆衛生看護学を学びます。

看護の未来を共創するステージ〈4年次〉

最後の学びのステージです。学生が主体となって看護の未来を教員と共に創っていく科目として「卒業研究」などの必修科目以外に、『看護未来創出』という科目群を設けています。看護学の伝承から看護学の発展をめざして発揮する力を獲得します。これらの選択科目の幾つかは臨床工学科との協働科目です。

また、各教員が専門とする具体的な看護スキルを学生に獲得させるために『看護熟練の技』という選択科目群も設けています。看護のプロフェッショナルとして、自信をもって巣立っていけることを目的としています。

取得可能な資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（選択制25名）

※保健師国家試験の合格者は申請により養護教諭二種免許、第一種衛生管理者免許が取得できます。

看護師・保健師 国家試験合格率

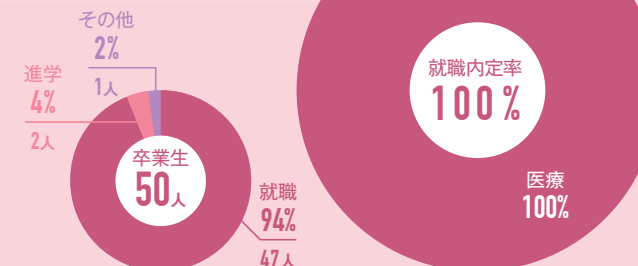
2022年度 看護師 **98%** / 保健師 **100%** 全国合格率
看護師 90.8% / 保健師 93.7%
2021年度 看護師 **100%** / 保健師 **100%** 看護師 91.3% / 保健師 89.3%



Department of Nursing

卒業後の進路

※円グラフデータは2022年度卒業生の実績です。
※主な就職先・進学先は、2021・2022年度の実績です。



主な就職先

着色は大学協力企業

医療 ▶ 石川県立中央病院
加賀市医療センター
金沢大学附属病院
小松市民病院
芳珠記念病院
やわたメディカルセンター
福井赤十字病院
福井大学医学部附属病院

保健師 ▶ 石川県
富山県
新潟県
小松市
岐阜市

金沢脳神経外科病院
金沢病院
富山赤十字病院
大阪医科大学病院
済生会兵庫県病院
兵庫医科大学病院
兵庫県立病院
京都大学医学部附属病院
埼玉県立病院機構
自治医科大学附属病院

東京医科歯科大学病院
東京共済病院
東京大学医学部附属病院
虎の門病院
日立製作所 ひたちなか総合病院
順天堂大学医学部附属静岡病院
トヨタ記念病院
名古屋市立大学病院
名古屋大学医学部附属病院
藤田医科大学病院

全就職先・進学先一覧



主な進学先

金沢大学養護教諭特別別科
新潟大学養護教諭特別別科
広島国際大学助産学専攻科
和歌山県立医科大学助産学専攻科



卒業生の声



岩佐 京志郎 さん
2023年3月 看護学科卒

就職先 金沢大学附属病院

様々な診療科で経験を積み、自分の適性を見極めた上で看護師としてのキャリアを形成していきたいと考え、診療科目が多く、各領域を専門的に深く学ぶことができる大学病院を志望しました。採用試験では、キャリアサポートセンターで各学生に応じたサポートをしていただいたので、事前に流れや雰囲気を知ることができ、よかったです。

また本学の看護学科は、3年次に病院実習等が終了するため、4年次に就職活動と国家試験の勉強に集中しやすいカリキュラム編成になっています。内定が決まった今思うのは、国家試験の勉強を早い時期から始めておく、就職活動にも心に余裕を持って取り組むことができると思います。

臨床工学科

末広キャンパス 30名

Department of Clinical Engineering

国公立大学で初の臨床工学科。
高度化する医療技術に即応して
最先端医療と地域医療に貢献する。



学科概要と特色

本学科は国公立大学で初めての臨床工学科です。あとに続く国公立大学の先駆けとして、教員と学生が一丸となり、リーディングスクールの責任とプライドを持って教育・研究を推進します。基本的には、高度化する医療技術に即応して医療機関における最先端医療と在宅・介護など地域医療に貢献できる人材、さらには臨床工学と医学の未来を切り拓く人材を養成します。

本学科のミッションは次の3点です。

医療技術が高度化する中、医学と工学の知識と技術を備え、高度医療機器の管理・運用を通じて、安全で安心な医療の実践に貢献できる臨床工学技士を育成します。

看護学科の学生と共に、チーム医療はもちろんのこと、地域社会における保健・医療・福祉の課題について学びます。1年次や2年次における共通教育科目、医学的基礎科目のみならず、4年次にあらためて総合実践科目を共同履修することによって、チーム医療の円滑な実践や地域医療の課題解決に協働して貢献できるような人材を育成します。

国際的、学際的に研究を遂行できる科学的思考力と創造力を高める教育に力を入れます。医学と工学の基礎教育で培われた臨床工学の知識と技術を基にして、現代社会と医療の課題解決に貢献し、臨床工学の未来技術を創出する臨床工学教育・研究者を目指す人を育成します。



養成する人材像

高度医療機器による安全かつ的確な医療技術の持続的提供ができる基礎力、応用力と、医療人としての責任感や倫理観を備え、チーム医療の一員として他の医療職と連携しながら地域医療の充実、発展に貢献できる臨床工学技士を養成します。

また、新たな医療技術の発展と医療の進化に寄与するために、臨床工学の教育・研究者を目指す人を養成します。

本学科を成長の場にしたいと願う次のような学生を求めます。

- 人の尊厳を重んじ、生命への高い関心と倫理観を有する人
- 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
- 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
- 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人



4年生が学科の魅力を語るPR動画公開中

取得学位

卒業までに所定の単位を修得し、本学科の養成する人材像に掲げる能力を修得した者に、学士（臨床工学）を授与します。

卒業要件単位数：132単位以上

Student's Voice

学生インタビュー

苦手科目や検定試験も手厚いサポートで乗り切れました

臨床工学科では、医学と工学どちらも勉強しなければならず大変ですが、物理や数学などの基礎を学べる授業もあり、高校で選択していなかった科目や苦手な科目も1年次の内に学習できるので安心です。また、目標だった「第2種ME技術実力検定試験」にも合格しました！予習の範囲が多く不安でしたが、定期的に行われる対策講座や模試に参加することで知識の不足を補い、本番の雰囲気を感じられたので、当日は集中して試験に望むことができました。将来は、いろいろなところなせる技士になって地元で活躍できるよう頑張りたいです。

堀 彰吾 さん
臨床工学科 4年

理解を深める学習で、現場で活かせる知識を身につける

臨床工学科は1学年30人という小規模な学科ながら、全国から学生が集まっているため、様々な方言が飛び交っています。私も初めて北陸の地に来たのですが、一人暮らしで不安な気持ちもみんなと共有でき、すぐに仲良くなれました。勉強においては、膨大な知識を蓄える必要がある中で、先生は「丸暗記ではなく理解することが大切」と教えてくれました。科目内容だけでなく、勉強方法までアドバイスいただけるのは、ありがたいです。これから実習や実験を通してより知識を深め、臨床工学技士としての自分の適性を見極めていきたいです。

佐藤 眞耶 さん
臨床工学科 3年



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス		末広キャンパス	
共通教育科目	英語／哲学／教養としての物理／統計学／心理学 など			
専門基礎科目	医学的基礎 チーム医療概論／生理学／解剖学 など			
	理工学的基礎 電気工学／電子工学／情報処理工学／医用工学概論 など			
専門科目		医用生体工学 生体物性工学／医用材料工学／計測工学 など	総合実践科目 卒業研究 臨床実習／ 医療技術の科学的検証など	
		医用機器学 医用機器学概論／医用治療機器学／生体計測装置学 など		
		生体機能代行技術学 呼吸機能代行装置学／循環機能代行装置学／代謝機能代行装置学 など		
		医用安全管理学 医用機器安全管理学 など		

4年間の学修の流れ

より安全で適切な医療技術を持続的に提供するために、社会に対して幅広い視野を持ち、地域における医療・保健・福祉の活動に貢献できる基本的能力を持つ臨床工学技士を目指し、次のような教育課程で学びます。

〈1年次〉

医療従事者としての教養を身につけ、医学・医療の基礎知識を修得します。

〈2年次〉

臨床工学に必要な医学・医療の具体的事項と全体像を理解し、理工学の基礎知識と技術を理解します。

〈3年次〉

生命維持管理装置の基礎知識と応用技術を修得し、安全・安心で効果的な医療の提供と地域社会の保健・医療・福祉の課題解決に取り組む能力を修得します。

〈4年次〉

臨床実習や看護学科との共通科目の履修を通じて、チーム医療の一員として患者の視点に立った医療を実践する能力を修得します。また、卒業研究などによって課題解決能力や研究能力を向上させます。

主要科目の概要

■ 医学的基礎科目群

「解剖学」、「生理学」、「生化学」、「病理学」など、人体の構造と機能や疾患の基礎を身につけ、医学・医療の基本と全体像を理解します。

■ 理工学的基礎科目群

「電気・電子工学」、「情報処理工学」、「医用機械工学」など、電気・電子工学の基礎知識と応用力を身につけて、医用機器の基本と全体像を理解します。

■ 専門科目群

「生体物性工学」、「生体計測装置学」、「呼吸・循環・代謝機能代行装置学」など、生体現象への医学的、工学的なアプローチに関する知識、技術を身につけ、生命維持管理装置の運用など、安全で安心な医療技術の実践について理解します。



取得可能な資格

● 臨床工学技士国家試験受験資格

※臨床工学技士は厚生労働大臣の免許を受ける国家資格です。

臨床工学技士 国家試験合格率

2022年度 **100%** 全国合格率 85.4%

2021年度 **91.2%** 全国合格率 80.5%

学科の学びが活かせる資格・検定等

● ME技術実力検定

Department of Clinical Engineering

卒業後の進路

※円グラフデータは2022年度卒業生の実績です。
※主な就職先・進学先は、2021・2022年度の実績です。

主な就職先

着色は大学協力企業

加賀市医療センター
小松市民病院
やわたメディカルセンター
富山県立中央病院
富山大学附属病院
福井県済生会病院
福井県立病院
福井大学医学部附属病院

国立大学法人富山大学
青森県立中央病院
仙台循環器病センター
済生会新潟病院
新潟県立病院
滋賀医科大学医学部附属病院
佐久総合病院
東京医科大学八王子医療センター
獨協医科大学附属病院

静岡赤十字病院
藤枝市立総合病院
刈谷豊田総合病院
中部労災病院
名古屋大学医学部附属病院
京都大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
長崎大学病院
琉球大学病院

主な進学先

公立小松大学大学院
広島市立大学大学院

全就職先・進学先一覧



卒業生の声

高倉 美来 さん
2023年3月 臨床工学科卒



就職先 福井大学医学部附属病院

臨床工学技士は病院によって応募があったりなかったりするため、先生方からの採用情報のほか、臨床工学技士会のサイトを日々チェックし、気になった病院の募集があったタイミングですぐ応募しました。応募前に病院見学をさせていただき、そこで実際の現場や各部署の仕事内容を丁寧に説明いただけたことで、自分がどの部署で活躍したいのかが明確になりました。私は循環器系の分野に興味があり、手術室で人工心肺装置等を扱う仕事に携わりたいと考えています。

4年次は病院実習、就職活動、国家試験勉強と目まぐるしい毎日でしたが、研究室の先生による手厚いサポートのおかげで乗り切ることができました。これから臨床工学技士として、早く一人前になれるよう頑張りたいです。



国際文化交流学科 中央キャンパス 80名

Department of Intercultural Communication

Start from Komatsu,
Explore the world,
Develop yourself.



学科概要と特色

本学科は、「国際社会に対する知識と国際感覚を備え、強い人間力と豊かな知性・感性を持って地域社会の振興と我が国の持続的発展に貢献できる人材を育成する」という理念を掲げています。ここで学べる領域は、大きく分ければ、観光、地域社会、国際社会、国際文化の4つで、人文社会科学の様々な領域に対応したカリキュラム編成になっています。日本海を介してアジアに開いている北陸という地に所在する国際系の学科として、社会に出た際の武器となるよう、英語に加えて中国語の習得を重視し、これを必修としています。

2年次後期に下記の2コースに分かれますが、コースを超えて幅広く学ぶことを推奨しています。深い知識と領域を横断する創造的な発想力・実践力を備え、地域の発展に貢献し国際社会で活躍できる人材を育成します。

□ 国際観光・地域創生コース

世界を俯瞰した観光学と地域経済の実態に関する知識を身につけます。また体験型の実習などを通じて企画力と創造力を身につけます。地域社会の創生と観光振興のあり方を広い視野から学ぶことができます。

□ グローバルスタディーズコース

世界各地域の政治、経済、社会および言語文化に関する知識を身につけます。また、演習や短期留学、異文化体験実習などを通じて異文化対応能力を身につけます。社会科学と人文科学のいずれも学べるのが特色です。



養成する人材像

国際的な視野から地域社会の持続的発展に貢献できる人材を養成します。

- インバウンド受け入れと多文化共生社会の実現に寄与する人材
- 地域を基盤として貿易、国際協力等に尽力する人材
- 地域特性を生かした観光資源の開発と海外発信に貢献する人材
- 豊かなコミュニケーション能力と外国語運用能力を持つ人材

本学科は国際的視野から地域貢献を目指す人文社会学系の総合学部であり、次のような学生を求めます。

- 南加賀地域および北陸の発展に強い意欲を有する人
- 自国の文化に誇りを持ち、国際社会とその文化的多様性を探究することを通じて、南加賀地域をはじめとする地域社会の発展に貢献できる人
- 海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人
- 地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人
- 問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

取得学位

卒業までに所定の単位を修得し、本学科の養成する人材像に基づき、学科共通の能力を修得するとともに、それぞれのコースごとに求められる能力を修得した者に、学士（国際文化学）を授与します。

卒業要件単位数：127単位以上

海外語学研修・異文化体験実習〈2～3年次開講〉

海外の協定校と連携し、春季（2～3月）または夏季（8～9月）に実施します。異なる文化、歴史、社会の中に身を置くことで異文化を実践的に学ぶことができます。

【海外提携機関】

- 海外語学研修
 - * オークランド大学 English Language Academy (ニュージーランド)
 - * 常州大学 (中国)
 - * 東南大学 外国語学院・海外教育学院 (中国)
 - * 建国科技大学 (台湾)
 - * 湖西大学校 (韓国)
 - * ウェスタン・ワシントン大学 (アメリカ合衆国)
 - * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)
- 異文化体験実習
 - * プリンス・オブ・ソングラ大学 (タイ)
 - * ユーコン大学 (カナダ)
 - * トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)
- 単位互換留学 (半年以上の留学)
 - * 常州大学 (中国)
 - * 東南大学 外国語学院・海外教育学院 (中国)
 - * 建国科技大学 (台湾)
 - * 国立中央大学 英米語文学科・言語センター (台湾)
 - * 湖西大学校 (韓国)
 - * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)
 - * トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)
 - * ナレスワン大学社会科学部 (タイ)

Student's Voice

学生インタビュー

地域で学び、新たな価値を創造する

観光や地域創生に関する分野に興味があり、国際文化交流学科の授業科目を見て「ここだ!」と思い、入学を決めました。

3年次に古民家のリノベーションや廃材を使って新たな商品を生み出す活動に携わり、地域資源に価値を創造することに魅力を感じました。また地域実習で市のプロジェクトに参加し、地域の方とディスカッションしたほか、地元の方の伝統行事にも参加したりと、地域に飛び込んで活動する機会も多く、実際に地域の人やものを肌で感じながら学びを深めることができます。

諸江 康生 さん

国際文化交流学科 4年 国際観光・地域創生コース

中国語との出会いが、私を大きく変えてくれました

大学に入って中国語と出会い、自分でも驚くくらいハマってしまいました。中国語の講義は分かりやすく、先生が一人ひとり丁寧に指導してくださいます。1年次からスピーチコンテストにも挑戦しているのですが、優勝経験のある先輩から指導いただくなど、憧れの存在がすぐ身近にいて、多くの刺激を受けました。

今は、交換留学制度を活用して、東南大学 (中国) に留学中です。充実した毎日で、この1年で中国語をマスターして将来の仕事にも活かすことができると考えています。

小林 美月 さん

国際文化交流学科 3年 グローバルスタディーズコース

Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス			
共通教育科目	基礎ゼミ／南加賀の歴史と文化／人間の発達と心／文章表現法／自然資源と環境問題／人文地理学 など			
専門基礎科目	専門基礎科目 国際地域研究入門／観光学概論／地域政策概論／異文化コミュニケーション論 など			
専門科目		専門外国語科目 English presentation／Tourism English／中国語表現法／ビジネス中国語 など		
		学外実践科目 海外語学研修／異文化体験実習／地域実習／インターンシップ		
		国際観光・地域創生コース 観光産業概論／観光の新たな展開／世界遺産を学ぶ／ユニバーサルツーリズム論／地域イノベーション論／地域文化政策論／地域観光ビジネス論 など		
		グローバルスタディーズコース 国際政治論／国際貿易論／中東政治論／宗教社会論／英語圏言語文化論／中国言語文化論／語用論／社会言語学／英語圏表象文化論／比較文学論 など		
				卒業研究

4年間の学修の流れ

積み上げ式のカリキュラムによって、一歩ずつ着実に力をつけます。

〈1年次〉

導入科目、一般科目等の共通教育科目、さらに専門基礎科目の「国際地域研究入門」を通じて、世界各地の多様性について考え、幅広い基礎学力を身につけます。また、英語力を伸ばし、中国語の基礎を学習します。学生全員に相談教員を配置し、履修およびキャリアデザインの助言をします。（2年次前期まで継続。それ以降は各コースの教員が助言にあたります。）

〈2年次前期〉

本学科の学生全員にとって必要な基礎的知識と方法論を教授する専門基礎科目を履修し、学期終了時にコースを選択します。また英語、中国語のレベルアップを図ります。

〈2年次後期～3年次〉

2年次後期はコースごとの専門科目を履修するとともに、幅広い知識、見識を身につけるために他コースの授業科目の履修も推奨します。3年次は、教室での講義、演習のほか、キャンパス外で行われる地域実習やインターンシップに参加します。海外語学研修、異文化体験実習は主に2年次終了時の春季休業期間に実施します。

〈4年次〉

4年間の集大成として「卒業研究」に取り組みます。併せてさらに専門科目を履修して視野を広げ、外国語のレベルアップを図りながら、卒業後の活躍に備えます。

代表的科目と概要

■ 国際地域研究入門〈1年次〉

国際・地域研究を学ぶにあたり、基礎的な知識と情報を得て、世界各地の社会や文化の特徴とその背景を広く理解します。

■ 中国語Ⅰ～Ⅳ〈1・2年次〉

中国人教員と日本人教員のコラボで教えます。最初は日本語と英語で教授し、次第に中国語のみの使用に移行します。

■ 観光の新たな展開〈2年次〉

地域の自然環境や文化に配慮した持続可能な観光のあり方について、最先端の動向を学びます。

■ 地球資源と観光〈3年次〉

観光資源とは何かを理解し、地域社会と観光との良好な関係を作り結んでいくために必要な知識を学びます。

■ 国際貿易論〈3年次〉

国際貿易に関する基礎的な知識と理論を学び、今日の世界及び日本経済の状況を把握します。

■ イスラーム社会論〈3年次〉

イスラームの教義や歴史を学ぶとともに、現在のイスラーム社会の多様性について考えます。また、イスラーム社会と日本との関係についても学びます。

■ 日英対照言語表現論〈3年次〉

英語と日本語の仕組みについて理解を深めるため、様々な表現や構文を取り上げ、その共通点・相違点について学びます。

■ 演習A・B〈3年次〉

卒業論文を見据え、一定のテーマを設けて、資料収集の方法、発表の訓練などを行います。

■ 地域実習〈3・4年次〉

地域の抱える諸課題について、地元の団体、自治体、企業の協力を得ながら、教員と学生が共同で取り組み、調査能力、課題解決能力、情報発信能力を身につけます。

学科の学びが活かせる資格・検定等

- 世界遺産検定
- TOEIC® Listening & Reading Test
- 中国語HSK検定
- 外国語のスピーチコンテスト

- ▶ 世界遺産検定
団体優秀賞受賞、
1級認定者輩出
(令和4年度実績)

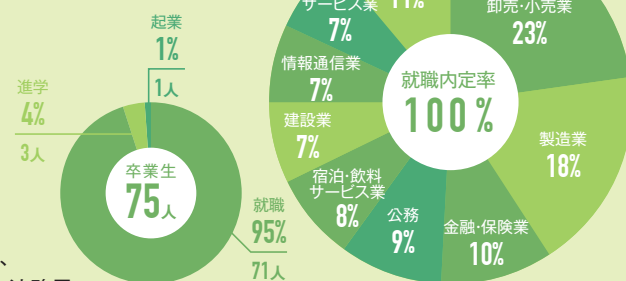


中国語スピーチコンテスト ▲
全日本3位、石川県大会1位、長野県大会1位
(令和4年度実績)

Department of Intercultural Communication

卒業後の進路

※円グラフデータは2022年度卒業生の実績です。
※主な就職先・進学先は、2021・2022年度の実績です。



主な就職先

着色は大学協力企業

- 公務 ▶ 財務省 大阪税関(国家公務員一般職)、国税庁 金沢国税局、法務省 福井地方法務局、警察行政職(福井県)、航空自衛隊、国立大学法人金沢大学、小松市役所、能美市役所、加賀市役所、白山市役所、あわら市役所、上越市役所、日進市役所
- 卸売・小売業 ▶ (株)アダストリア、イオンリテール(株)、(株)菓匠三全、(株)ジーユー
- 製造業 ▶ 加賀東芝エレクトロニクス(株)、(株)金沢村田製作所、(株)小松製作所、小松マテーレ(株)、大京(株)、大同工業(株)、高桑美術印刷(株)、フクビ化学工業(株)、三協立山(株)
- 金融・保険業 ▶ (株)北陸銀行、(株)北國銀行、はくさん信用金庫、SBIホールディングス(株)、(株)日本政策金融公庫、石川県信用農業協同組合連合会、金沢信用金庫、福井信用金庫、岐阜信用金庫
- 宿泊・飲料サービス業 ▶ HYホテルマネジメント(株)(ハイアット セントリック 金沢)、(株)ホテルゆのくに
- 情報通信業 ▶ (株)福井新聞社
- サービス業 ▶ イオンディライト(株)、(株)カラフルカンパニー、(公財)坂井市文化振興事業団、JA金沢市、大日本コンサルタント(株)、福井商工会議所
- その他 ▶ (一財)石川県予防医学協会、西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)、佐川急便(株)、日通NECロジスティクス(株)

主な進学先

北海道大学大学院、神戸大学大学院

全就職先・進学先一覧



卒業生の声

八木 茉陽 さん
2023年3月 国際文化交流学科卒



就職先 (株)福井新聞社

就職活動で悩んでいたとき、キャリアサポートセンターの方と話をすることで自分の考えが整理でき、「地元福井の発展に貢献したい」という明確なキャリアビジョンを描くことができました。大学では海外の協定校との交流会への参加や地域実習で地元の九谷焼作家さんと交流する機会があり、ローカルからグローバルまで、様々な人との出会いで、多角的に物事を見る力がついたように思います。4年間で培った感性や知識、そして聞く力・伝える力を活かし、将来は新聞を通して普段光が当たっていない地域の原石を掘り起こし、福井の人・もの・ことを上手く表現できる人になりたいです。それが結果的に、大好きな福井の価値を高めることにつながると考えています。

卒業生の声

田中 剛志 さん
2023年3月 国際文化交流学科卒



就職先 ハイアットセントリック金沢

大学生活では英語のスキルを磨くため、2年次にオンラインでオーストラリアの語学研修プログラムを受講したほか、英語カフェへの参加や知り合いの外国人とコミュニケーションを図るなど、日常的に英語に触れる機会を作っていました。こうして培った英語のスキルを活かした仕事ができればと思い、外資系のホテル業界への就職を決めました。就職活動にあたっては、キャリアサポートセンターや先生方に手厚くサポートいただき、おかげさまで自分の適性に合った企業を見つけられました。就職後は語学力はもちろん、得意な動画編集の技術を活かして、映像やSNSを使った魅力発信業務にも携わることができていると考えています。

※英語カフェ：様々な国の方と英語で楽しく会話する交流事業

令和6年度(2024年度)入学者選抜

入試の詳細や過去問題等の
情報は公立小松大学
ホームページで公表します。



選抜区分と募集人員

[単位:人]

学部	学科	入学定員	選抜区分と募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜			社会人選抜
			前期日程	公立大学 中期日程	一般	市内	県内	
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	—
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名※
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名※
	計	80	47	13	5	7	8	若干名※
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	—
合計		240	122	58	19	20	21	若干名※

※保健医療学部の社会人選抜の募集人員(若干名)は、各学科の一般選抜の内数とします。

入学者選抜方法

一般選抜	一般選抜は、前期日程と公立大学中期日程で実施します。後期日程は実施しません。大学入学共通テストと個別試験により、入学志願者の基礎学力を総合的に判定します。		
学校推薦型選抜	次の要件を満たし、調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の学習成績の状況3.5以上)あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に、学校推薦型選抜(一般推薦・地域推薦)を実施します。		
	一般推薦	推薦要件	高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
		選抜方法	大学入学共通テストにより一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。
	地域推薦	次のいずれかに該当する者を対象とします。 ※保護者とは、父母又は主たる生計維持者	
		推薦要件	市内推薦 ☐ 小松市内に所在する高等学校を 令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ☐ 高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き本人又は保護者が小松市内に住所を有する者で、小松市外に所在する高等学校を 令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者 県内推薦 ☐ 石川県内(小松市を含む。)に所在する高等学校を 令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
		選抜方法	大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、面接、課題作文により学習意欲や能力を総合的に判定します。
社会人選抜	令和6年3月31日までに満23歳に達しており、社会人としての実務経験(非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。)を3年以上有する者を対象に、社会人選抜を実施します。調査書、志願理由書等の出願書類審査、面接、小論文により総合的に判定します。		

Web出願

学校推薦型選抜、一般選抜においてWeb出願を実施します。

※詳細は、学生募集要項をご確認ください(学校推薦型選抜は9月頃、一般選抜は10月頃に公立小松大学ホームページで公表します)。

※社会人選抜では、Web出願を行いません。

令和5年度(2023年度)入試結果

[単位:人]

学部	学科	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者		
生産システム科学部	生産システム科学科	前期日程	40	58	42	37	34		
		中期日程	20	168	48	45	23		
		一般推薦	7	8	8	8	8		
		市内推薦	6	3	3	3	3		
		県内推薦	7	9	9	7	7		
		計	80	246	110	100	75		
		保健医療学部	看護学科	前期日程	30	96	88	36	32
中期日程	8			196	61	15	8		
一般推薦	2			18	18	2	2		
市内推薦	5			9	9	5	5		
県内推薦	5			13	13	5	5		
社会人	若干名			0	0	0	0		
計	50			332	189	63	52		
臨床工学科	前期日程		17	58	54	20	18		
	中期日程		5	83	32	8	3		
	一般推薦		3	29	29	4	4		
	市内推薦		2	6	6	2	2		
	県内推薦		3	9	9	4	4		
	社会人		若干名	0	0	0	0		
	計		30	185	130	38	31		
	小計		80	517	319	101	83		
	国際文化交流学部		国際文化交流学科	前期日程	35	88	70	40	34
				中期日程	25	234	66	52	33
一般推薦		7		11	11	6	6		
市内推薦		7		12	12	7	7		
県内推薦		6		11	11	6	6		
計		80		356	170	111	86		
合計		前期日程		122	300	254	133	118	
	中期日程	58	681	207	120	67			
	一般推薦	19	66	66	20	20			
	市内推薦	20	30	30	17	17			
	県内推薦	21	42	42	22	22			
	社会人	若干名	0	0	0	0			
	計	240	1,119	599	312	244			

入学年度別 入学者の出身都道府県

北陸三県を中心に全国から入学者があります。

[単位:人]

都道府県	入学年度			
	R5	R4	R3	R2
北海道	4	2	0	2
青森	1	0	0	0
岩手	0	0	0	0
宮城	1	2	1	1
秋田	0	0	1	1
山形	2	0	1	0
福島	1	0	0	1
茨城	0	2	1	2
栃木	1	0	3	0
群馬	1	1	1	0
埼玉	2	0	2	0
千葉	0	0	0	0
東京	1	0	0	0
神奈川	1	0	0	0
新潟	5	3	7	8
富山	14	24	23	27
石川	127	136	134	138
福井	33	37	19	31
山梨	3	0	0	1
長野	5	3	6	6
岐阜	6	10	10	6
静岡	9	3	5	4
愛知	4	6	5	5
三重	4	3	6	2
滋賀	0	1	1	1
京都	3	1	2	1
大阪	2	0	3	1
兵庫	3	4	8	2
奈良	1	0	0	0
和歌山	2	1	0	0
鳥取	1	0	0	0
島根	1	0	0	0
岡山	1	1	2	0
広島	1	0	0	1
山口	0	1	1	0
徳島	0	0	1	0
香川	1	1	0	0
愛媛	0	4	1	0
高知	0	0	1	0
福岡	1	0	1	0
佐賀	1	0	0	1
長崎	0	0	0	0
熊本	0	1	0	0
大分	0	0	1	0
宮崎	0	0	0	0
鹿児島	0	1	0	0
沖縄	1	0	1	0
合計	244	248	248	242

サステイナブルシステム科学研究科

Graduate School of Sustainable Systems Science



サステイナブルシステム科学研究科は、今後の地域・国際社会のサステナビリティ（持続可能性）とその実現につながるシステム構築を担う人材育成を共通の目標とする「生産システム科学専攻」、「ヘルスケアシステム科学専攻」、「グローバル文化科学専攻」の3専攻からなります。

今や世界中で推進されている「SDGs: Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」は、国連で採択された2030年に向けての17の目標ですが、本大学院が目指すサステナビリティとは、SDGsの基本理念を踏まえつつ、「人類と地球、人々と地域の生命、健康、幸福、平和を未来にわたり続けさせること」と定義し、2030年以降も幾世代にもわたって地域と世界の発展に貢献しう人材育成に取り組めます。

高度情報化・超高齢化の進行に相まって今後予想される社会システムの劇的変化へ先進的かつ着実に対応するため、本学が有する工・文・医系の全アクティビティを結集・連携させ、持続可能な目標達成に向けての課題の相互関連性の認識と統合的な解決への意識を共有し、専攻の垣根を超えた連帯と協働で教育研究を行います。

基本理念

- ① 人類と地球の未来を視野に入れた教育・研究・社会連携活動を展開し、地域・国際社会の持続性への貢献をめざす。
- ② 人々が健康で幸せな生活を送ることができ、産業と文化の創成や振興につながる新しい文明価値の創造をめざす。

教育理念

- ① 公立小松大学が有する工・文・医系の知的人的資源を活かし、AI・データ科学や他者とのコミュニケーション能力を共通リテラシーとして涵養し、地域・世界の持続性に資する多様な専門知識と技能を備え、時代と社会の変化にしなやかに対応できる人材育成を図る。
- ② 地域の社会人を積極的に受け入れ、ものづくり企業や保健・医療・福祉機関で働く人材の学び直し・学び直し・スキルアップに貢献する。また、外国人留学生・研究者を積極的に受け入れ、国際共同研究・多文化共生・我が国企業への就労・頭脳循環に貢献する。

【用語の定義】 サステイナブルシステム …… 持続可能性への目的意識をもって体系的に構築、推進される工程、プロセス、制度、文化、政策
サステイナブルシステム科学 …… 持続可能性のためのシステムづくりを支える学問

Topics

2024年4月 博士後期課程 開設予定（設置認可申請中）

次世代・地域産業を担う高度人材、未来を支える教育者や研究者、「総合知」に立脚し、高度な専門能力を備えた人材を養成し、地域・国際社会の持続可能性への貢献を目指すため、2024年4月に大学院博士後期課程を設置予定です。

サステイナブルシステム科学研究科

専攻	取得できる学位	修業年限	入学定員	キャンパス
生産システム科学専攻	修士〔工学〕	2年	15人	栗津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	修士〔保健学〕	2年	3人	末広キャンパス
グローバル文化科学専攻	修士〔国際文化学〕	2年	3人	中央キャンパス

教育研究の特色

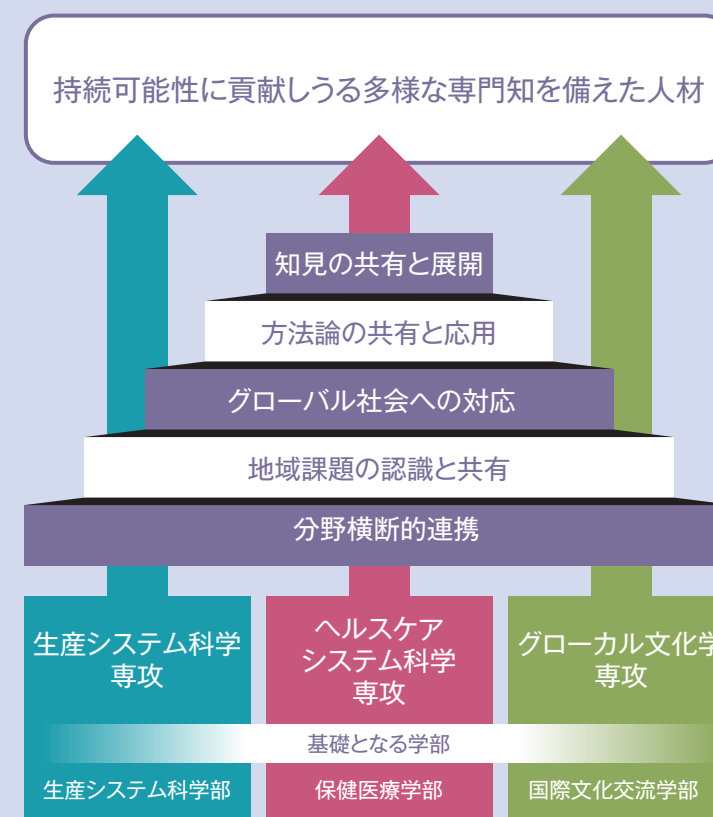
■ 3専攻に共通する教育プログラム

地域・世界の課題の認識と共有を図るオリエンテーションからスタートし、データ科学やAI、コミュニケーションスキルなど共通リテラシーの修得を図ります。また、専攻専門科目のほか分野横断的専攻専門科目を設け、他分野の考え方や研究手法を学びます。さらに、フィールドワークを通じたケーススタディ及びインターンシップを経験し、最終的に修了研究へとつなげます。1研究科3専攻という特色を生かし、専攻の垣根を超えた新しいコラボレーション、共同研究の可能性も追求します。

■ 複数教員による指導体制で 分野横断的な研究をバックアップ

指導は複数教員で行います。自専攻から主任指導教員1人と副指導教員1人の2人体制を基本とし、他専攻からも分野横断的専攻専門科目の履修や専門分野を超えた課題研究に関して助言・指導を行うアドバイザー教員1人以上を配置します。

修士課程の概要



修了までのスケジュール

1年次	
4月	主任指導教員、副指導教員の決定 履修登録、履修計画の作成
5～6月	研究課題の決定・研究計画書の作成
7月	前期定期試験
2月	1年次研究成果報告 後期定期試験
2年次	
4月～	指導教員による研究指導
7月	前期定期試験
8月	中間研究成果報告
1月	修士論文提出
2月	学位（修士）論文審査会 修士論文発表会 口頭試問
3月	学位記授与

入学時より、指導教員によるきめ細かな面談等を行い、学生のニーズと能力を把握し、研究指導方法を決定します。研究成果の中間報告および最終発表を各専攻で行うほか、全学的な研究発表の場も設けます。

生産システム科学専攻

機械工学はものづくりの基本をなし、本専攻では、機械工学を「力学的諸現象の解析と形あるものの設計・製造方法を研究対象とする学問分野」と定義します。生産システムにおいては、機械工学を基盤として、電気・電子工学さらには情報科学などの関連分野と接続し、これらの分野の統合的な展開を図ることが必須となります。

データ・情報の新しい集積・活用法のみならず、医・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、地球・地域に根ざした生産システムの開発と持続可能社会の建設に貢献できる人材を育成します。

入学受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- ものづくりの基本である機械工学の基盤となる種々の力学に関する学問分野についての基礎知識を身につけている人。
- 持続可能な生産プロセス実現のため、情報工学、電気電子工学の活用に意欲的な人。
- 自らの専門に留まらず、他分野の専門家と積極的に連携し、持続可能性のための課題解決に取り組む意欲と行動力を有する人。
- 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために活躍する意欲を有する人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 持続的エネルギーシステムに関する課題を抽出できる能力を修得する。
- 持続的生産システムのための数値・最適化手法、AI、ICTを活用できる能力を修得する。
- 地域産業の持続的発展のための先端材料・加工学やセンシング技術の社会実装力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。

科目の概要

■ 次世代エネルギーシステム特論

次世代エネルギーの種類や可能性を学び、持続可能な熱流体エネルギー利用システムの実現可能性や課題等について考察します。

■ エネルギー変換特論

各種エネルギー間の変換原理を明らかにし、持続可能な社会に資するためのエネルギーの貯蔵、変換と制御について学びます。

■ 先進材料・加工学特論

先進材料と加工手法について解説し、材料開発と加工技術が持続可能な生産システムに資する役割について学びます。

■ 次世代生産システム特論

生産向上や品質改善のための課題分析手法を工程管理等から修得し、持続可能な社会に適合する次世代生産システムについて学びます。

■ 構造最適設計特論

持続可能な社会に適合する各種構造物を例に有限要素法を解説し、最適化問題との組み合わせ手法について学びます。

■ 構造ダイナミクス特論

構造物の共振や同期現象、有限要素法による動的解析と制振対策への応用、動的強度に関する理論と設計法を学びます。

■ 計測制御システム特論

デジタル制御を基本とした動的システムのモデリングやフィードバック制御、さらにシーケンス制御について解説します。

■ 電気通信制御特論

IoTデバイスやセンシングデバイスに必要な外部からのエネルギー供給と制御、通信に特有な最適化について解説します。

■ アルゴリズム特論

アルゴリズムの時間計算量と領域計算量を求める手法を通し、効率の良いアルゴリズムの設計について学びます。

■ 画像認識特論

局所勾配特徴抽出技術と機械学習との連携による画像分類法を解説し、例として顔認識や文字認識などの画像認識技術について学びます。



ヘルスケアシステム科学専攻

生命倫理学に立脚したデータ・情報の新しい集積・活用法に通暁し、工・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、持続可能なコミュニティづくりや医療機器開発に貢献できる人材を育成します。健康で幸福な市民生活の維持の追求に寄与し、地域・国際社会における持続性の向上に貢献します。

入学受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- 本学保健医療学部が授与している学位（看護学、臨床工学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。
- 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。
- 人々の健康と幸福に寄与するための高い志をもち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 過疎化、高度産業化などの社会要因や超高齢化などの生命要因に起因する医療・保健・福祉に関する課題を抽出し、解決への道筋を探る能力を修得する。
- 病院から在宅まで多様化する医療現場で求められるコミュニケーション能力や共鳴力を涵養し、全人的医療の基礎となる生命・医療倫理に関する知識と考え方を修得する。
- 未来の包括的体系的ヘルスケアの構築に求められる健康・医療データ・情報の活用法、医療技術・機器の知識とそれらを改良・開発するための能力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。

科目の概要

■ メディカル・サイバネティクス特論

ブレイン・マシン・インターフェースなどのヒトの支援技術を理解し、来たる未来の医学・医療分野におけるサイバネティクスの意義と有用性を考究します。

■ ヘルスケアシステム概論

ヘルスケアに関する知識の獲得、ならびに保健・医療・福祉領域のサステイナブルな発展に貢献できる能力の向上を図ります。

■ サステイナブル コミュニティ創造特論

保健医療分野における次世代のヘルスケアリスク・マネジメントについて理解し、サステイナビリティなコミュニティを創造していくための能力を育てます。

■ サステイナブル ライフ・エシックス特論

サステイナブル ライフ・エシックスとは何か、原理や比較考察を行い、応用事例をもとに問題解決へ考究します。

■ ヘルスバイオエンジニアリング特論

医用機器等に関する技術を理解し、社会システムの構築と維持における情報工学技術と医療技術の役割を議論します。

■ 生体代行システム特論

生体医工学、データ科学、機能解剖学など多様な学問を超領域的に基盤とした、人々の持続的な健康と福祉の向上につながる技術と世界観を修得します。

■ 高齢者包括ケアシステム特論

日本に加え諸外国における地域包括ケアシステムに関する知識・考え方を主体的に学びます。



グローバル文化学専攻

※本学では「グローバル文化学」を、「世界の国・人種・民族やさまざまな地域の住民の歴史と生活に基づく有形無形の表現活動とその所産を科学的に調査研究し、論述や政策提言を行う学問」と定義します。

南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養います。データ・情報の新しい集積・活用法に通暁し、工・医分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、望ましい持続可能性のために行動し、世界のあらゆる場でリーダーシップを発揮して多文化共生と国際社会に貢献できる人材を育成します。

入学受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する人。
- 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見的かつ総合的な道筋を提案できる人。
- 南加賀および北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養いたい人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を修得する。
- 実地経験にもとづく的確な国際認識と多文化理解を身につけ、持続可能な社会の発展のための行動力を修得する。
- 持続的可能性を視点に新しい文明価値の創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創造性を修得する。

科目の概要

■ 多文化共生社会特論A (文化一般)

複数の文化的背景をもつ人々が共生する社会のあるべき姿と実際について、実証的・理論的に考察します。

■ 多文化共生社会特論B (観光一般)

現代における多文化共生の理解を実証的・理論的に進め、その課題や今後の在り方を考察します。

■ 地域資源学特論A (自然・文化・社会資源：理論)

地域資源に関する理論を学び、経済・観光人類学、文献史学の視点をふまえ、研究を行う上での基礎を修得します。

■ 地域資源学特論B (自然・文化・社会資源：実践)

地域資源に関する基礎を修得したうえで、現場での地域資源に関する実践的な側面について学修します。

■ グローバルスタディーズ特論A (アジア・インド太平洋)

アジアの大国政治と小国の現状を考察し、理論と現実の両面から国際政治と二国間外交の課題を分析し、政治的議論のトレーニングを行います。

■ グローバルスタディーズ特論B (中東・旧ソ連)

中東・旧ソ連圏の政治経済を考察したうえで、両地域の今後の展望をグローバル化の視点から考察します。

■ 言語文化特論A (英語文化圏)

英語圏文学、英語学、言語学の先端的研究成果を学修し、研究対象への洞察力を養うと同時に、研究テーマの探究に繋がります。

■ 言語文化特論B (漢字文化圏)

漢字文化圏の先端的研究成果を学修し、研究対象への洞察力を養うと同時に課題を発見し、研究テーマの探究に繋がります。



大学院 令和6年度(2024年度)入学者選抜(修士課程)

入試の詳細は公立小松大学
ホームページで公表します。



選抜区分

出願資格を満たすものに対し、下記の入学選抜を実施します。

出願資格の詳細は募集要項(大学院)で確認してください。

一般選抜	令和6(2024)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者を対象に実施します。
社会人特別選抜	大学を卒業又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、令和6(2024)年3月までに22歳に達し、通算2年以上の職歴を有するものを対象に実施します。
外国人留学生特別選抜	令和6(2024)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、日本国籍を有しないものを対象に実施します。

出願方法

大学院の入試は、すべての選抜区分において募集要項を取り寄せて出願してください。

※Web出願を行いません。

入学者選抜方法

[単位：人]

サステイナブルシステム科学研究科				
学力試験、筆記試験、口述試験、研究計画書 及び 出身大学の成績等を総合して判定します。				
専攻	入学定員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	15	▶ 学力試験 ※ ▶ 口述試験 ▶ 英語外部試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 学力試験 及び 口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	3	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 専門分野についての学力 と当該分野の研究に必要な 外国語能力を問う ▶ 口述試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 または 口述試験
グローバル文化学専攻	3	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 専門分野についての学力 と当該分野の研究に必要な 外国語能力を問う ▶ 口述試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 または 口述試験

※成績優秀者については学力試験を免除し、口述試験に専門基礎学力に関する質疑を含めることとする。

教員氏名	役職	専門領域	研究内容
学長・副学長			
山本 博	学長 兼 保健医療学部長代行	医学	糖尿病血管症の成因・病態・克服に関する研究
横川 善正	副学長(教育担当)	芸術学、文学	ホスピタリティ・アートの可能性と実践
木村 繁男	副学長(研究担当)	熱工学・環境流体	浮力を駆動力とする対流熱伝達と地熱エネルギーに関する研究

生産システム科学部			
岩田 佳雄	学部長	機械力学・計測制御	機械の振動制御に関する研究および動吸振器やインパクトダンパの開発
生産システム科学科			
酒井 忍	学科長	スポーツ工学	スポーツ用具の研究、高性能トレーニングマシンの研究開発
歌野原 陽一	教授	熱流体工学	発電プラントにおける熱・物質の輸送を伴う流体現象
川端 信義	教授	流体工学	閉空間火災時の煙と人の挙動および動圧グループ軸受に関する研究
香川 博之	教授	機械工学・雪氷	機器や計測装置の開発と機能や強度の解析評価
粕谷 素洋	准教授	トライボロジー・界面科学	デバイス・材料界面の力学応答における分子挙動解明と評価法開発
上野 祐亮	助教	工作機械、ロボット工学	発見と学習による工作機械およびロボットアームの高精度化、知能化に関する研究
史 金星	准教授	固体力学・CAE	複合構造・ナノ構造における形状最適設計に関する研究
細川 晃	教授	精密加工学・生産工学	切削加工、研削加工など種々の材料の精密加工法の研究
朴 亨原	准教授	金属材料・加工	新たな構造材料及びそのプロセスングの研究開発
足津 正利	准教授	メカトロニクス	ロボットの運動制御、パワーアシスト装置の研究開発
池田 慎治	准教授	磁気応用工学	磁性微粒子材料を用いた高周波磁気応用や微細加工技術の研究
山下 幸三	准教授	大気電気学	電磁界計測および静電界計測に基づいた雷・雷雲の観測的研究
木村 春彦	教授	情報工学	人工知能の応用、独居老人の介護支援、環境認識に関する研究
梶原 祐輔	准教授	人工知能	機械学習による高齢ドライバーの運転技能の定量化
上田 芳弘	教授	データ科学	AI、IoTによる異常検知、検査工程の自動化に関する研究
坂本 一磨	助教	知能情報学	SNSユーザの属性推定や社会事象の抽出、人物認識とスポーツ情報処理に関する研究
村山 立人	教授	数理情報学	統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究
篠原 晋	教授	物理学	波動力オス理論とその微小共振器レーザーへの応用
田村 博志	教授	数理物理学	関数解析と確率論を用いた量子統計力学に関する研究
舟瀬 真一	講師	機械工学・情報工学・教育工学	コンピュータ・プログラムを必要としない自動生産システムに関する研究

保健医療学部			
看護学科			
徳田 真由美	学科長	在宅看護学	在宅看護や排便ケアを必要とする人と家族に関する研究
伊藤 道子	教授	基礎看護学	看護師が使用する物品の安全管理方法の研究
上田 映美	准教授	基礎看護学	高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究
加藤 千夏	助教	基礎看護学	睡眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究
鈴木 由依子	助教	基礎看護学	リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究
北岡 和代	教授	精神保健看護学	働く人々(看護師等)の職場環境とメンタルヘルスに関する研究
片山 美穂	准教授	精神保健看護学	育児中の母親の思いと育児行動に関する研究
相上 律子	助教	精神保健看護学	認知リハビリテーションに関する研究
松井 優子	教授	成人看護学	がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究
木森 佳子	教授	成人看護学	見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究
山田 奈津子	助教	成人看護学	重症患者への看護アセスメントに関する研究
小泉 由美	教授	老年看護学	タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究
誉田 恵理	助教	老年看護学	高齢2型糖尿病患者のオーラルフレイルと食支援に関する研究
津田 裕子	助教	老年看護学	高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究
小田 梓	助教	小児看護学	1型糖尿病をもつ子どもの血糖－睡眠モニタリングに関する研究
前田 朱美	助教	小児看護学	発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究
坂本 めぐみ	教授	母性看護学	周産期の健康管理と栄養教育に関する研究
山田 貴代	講師	母性看護学	妊婦健診実習の実践能力に関する研究
久司 留理子	助教	母性看護学	社会的ハイレスク妊婦の支援に関する研究
清水 由加里	講師	在宅看護学	アレルギー症などに対する抗菌性物質の曝露・評価に関する研究
矢口 和美	助教	在宅看護学	地域で暮らす高齢者・家族介護者の支援と介護ロボットの有用性に関する研究

教員氏名	役職	専門領域	研究内容
中田 明恵	教授	公衆衛生看護学	保健事業の評価や地域の健康データを用いた研究/AIとその評価に関する研究
池田 美智子	助教	公衆衛生看護学	ダイオキシン類の環境汚染が小児に与える影響に関する研究
塚谷 才弘	助教	公衆衛生看護学	ヘルスプロモーションにおける医療・保健データの活用に関する研究
高木 祐介	教授	公衆衛生学、生理学、 栄養学、心理学	種々の気象・環境条件下における身体活動時の生理学的・心理学的応答の変化

保健医療学部			
臨床工学科			
平山 順	学科長	基礎生物学	体内時計の光制御に関する研究
北浦 弘樹	教授	病態神経科学	光学的イメージングによるヒトてんかんの病態生理学的研究
仲田 浩規	教授	組織学	形態学的研究、主に生殖器系
藤田 一寿	准教授	人工知能	人工知能の学際的視点からの探求
井澤 純子	講師	情報科学(画像解析)	コンピュータビジョン、医用画像解析、生体情報解析、機械学習
山岡 哲二	教授	バイオマテリアル	生体内の細胞の治癒力を発揮させる機能性バイオマテリアルの研究
山岡 禎久	教授	生体医工学	生体光イメージング、パオフォトニクス、精密光計測、非線形光学
李 鍾昊	教授	人間医工学	脳の運動制御能力の分析による高齢者のヘルスケアと医療支援に関する研究
橋本 泰成	教授	生体医工学	脳波を使ったブレイン・マシン・インタフェースの臨床応用
野川 雅道	准教授	生体医工学	在宅・ベッドサイドモニタ、福祉・介護機器、治療機器
山田 昭博	准教授	人工臓器医工学	先天性心疾患の血行動態解明と肺循環補助システムの研究開発
佐藤 宜伯	准教授	生体医工学	人工透析用膜素材に関する研究
坂元 英雄	講師	医用工学	体外循環における回路内血液凝固検出システム構築に関する研究
鈴木 郁斗	助教	生体医工学	健康管理のための光計測手法・デバイスに関する研究

国際文化交流学部			
岡村 徹	学部長	社会言語学	言語間接触に関する研究
国際文化交流学科			
杓谷 茂樹	学科長	観光人類学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究
中子 富貴子	教授	観光、観光社会学	地域観光の促進、バリアフリー観光に関する研究
朝倉 由希	准教授	文化政策	文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究
清 剛治	准教授	地域産業システム	地域社会・産業システムの競争優位性
木村 誠	准教授	心理学	環境適応と行動変容に関する研究、心理検査の開発・研究
鍾 以江	教授	日本・東アジア近現代史	日本と東アジアの歴史と文化に関する研究
西島 薫	講師	地域研究、文化人類学・民俗学、 政治人類学	民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究
千葉 悠志	准教授	地域研究・メディア研究	中東・イスラーム世界・メディアと政治社会の関係に関する研究
一ノ渡 忠之	准教授	国際貿易論	グローバリゼーションが内包する問題と新興経済諸国の研究
西村 聡	教授	日本文学	日本古典文学・能楽史に関する研究
小原 文衛	教授	映画研究・文学	アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究
長辻 幸	准教授	英語学・言語学	発話解釈における日英語の接続表現に関する研究
島内 俊彦	教授	言語学	第二言語取得論に基づく英語教育に関する研究
デニス・ハーモン	准教授	教育学	教育哲学、アイデンティティ、異文化の出会い
橋本 貴子	准教授	中国語学	中国語音韻史
魏 金美	准教授	言語学	日本語文法、語用論、異文化コミュニケーションと翻訳
劉 乃華	教授	中国語学	第二言語としての中国語教育の理論と実践

大学院			
サステイナブルシステム科学研究科			
木村 繁男	研究科長	熱工学・環境流体	浮力を駆動力とする対流熱伝達と地熱エネルギーに関する研究
岩田 佳雄	生産システム科学専攻長	機械力学・計測制御	機械の振動制御に関する研究および動吸振器やインパクトダンパの開発
平山 順	ヘルスケアシステム科学専攻長代行	基礎生物学	体内時計の光制御に関する研究
岡村 徹	グローバル文化学専攻長	社会言語学	言語間接触に関する研究
高山 純一	(専任) 教授	土木計画学、交通工学、都市計画	交通工学、都市計画、防災計画を活用した交通・防災まちづくり
盛永 審一郎	(専任) 特任教授	応用倫理学・実存倫理学	生命倫理学・環境倫理学の諸問題を「人間の尊厳」概念を核にして解明
中村 誠一	(専任) 特別招聘教授	マヤ文明研究、マヤ考古学、 文化資源学	文理医融合アプローチによるマヤ文明コバン王朝のダイナミクス解明
小川 雅洋	(専任) 特任助教	マヤ考古学、文化資源学	マヤ南東部における地域間交流の研究

国・地域別 海外連携機関

留学や語学研修、インターンシップなどに学生を派遣します。



協定校交換留学

1年以内の間、本学に在籍しつつ協定を結んでいる海外の大学(協定校)で教育を受けるプログラムです。学内選考において「公立小松大学の代表として派遣するのにふさわしい」と判断された学生が交換留学の候補者となります。

派遣先: 常州大学、建国科技大学、トウンク・アブドゥル・ラーマン大学、オースティン・ピー州立大学 等

短期留学プログラム

夏季および春季の長期休暇を利用し、2週間から1ヶ月程度の海外語学研修や海外異文化体験実習を実施しています。

海外語学研修: 東南大学、建国科技大学、オークランド大学 English Language Academy 等

異文化体験実習: プリンズ・オブ・ソクラ大学、トウンク・アブドゥル・ラーマン大学、ユーコン大学

海外インターンシップ等

カンボジアのアンコール遺跡整備公園のインターンシップでは、約2週間、文化財や自然環境、地域社会の保全、観光開発や都市開発などの仕事に従事し、異文化理解を深めます。また、シリコンバレーオフィスを活用した研修では、現地企業や大学の視察、ワークショップなどを実施しています。

派遣先: アンコール遺跡整備公園、シリコンバレー

留学通信

[台湾] 建国科技大学
留学期間: 2022年10月~2023年2月

野村 夢佳 さん 国際文化交流学科

台湾の建国科技大学には観光学科があり、私がこれまで公立小松大学で学んできた観光や地域振興等についてさらに学びを深めることが出来たため留学先を選びました。新型コロナウイルスの影響により半年間の留学でしたが、結果として短期間に密度の濃い留学経験になったと感じています。また、台湾では様々なことに挑戦してみようと思い、台湾の中高生との交流イベントや、日台交流に積極的に参加しました。現地の人との会話や目に映るものがすべてが私にとって中国語教材であり、多くの“生きた表現”を学ぶことが出来ました。留学先で得た行動力やコミュニケーション力は今後社会に出た後も活かすことのできる大きな力になると思います。



海外インターンシップ 産学合同シリコンバレー研修

期間: 2022年9月11日~17日

谷内 悠亮 さん 生産システム科学科

この研修に参加した理由は、日本とは全く異なる文化・慣習下で生活することにより今までの固定概念を覆し、新たな価値観を知り、多角的に考える力を身につけたいと考えたからです。研修では、アップルパークやスタンフォード大学、Google本社などを訪問し、サンフランシスコ市内でのフィールドワークも行いました。またアメリカ、特にシリコンバレー地域について多くのことを学ぶと同時に日本を客観視することで、日本の長所も短所も知ることができました。ずっと日本で生活していると気付けませんが、アメリカと比較することで見えてくる部分があります。私は、こうした広い視野を持つことがいかに大切かということがわかりました。今後も、研修で培った経験や様々な能力を活かし、更なるグローバル社会の中でも活躍していけるように日々努力し続けたいと思います。



サークル活動

文化系・運動系の多種多様なサークルが活動しています(2023年3月現在、文化系が17、運動系が12サークルあります)。サークル活動は、各キャンパス内の教室や施設のほか、末広体育館や陸上競技場などの運動施設や町家ハウスRyusukeなどの市内の公共施設も利用できます(公共施設は、学生を対象に利用料の割引があります)。



ボートサークル



吹奏楽サークル

大学祭「青松祭」

実行委員会の学生たちが自ら企画・準備し、中央キャンパスを中心に毎年10月に開催しています。ダンスや音楽などのステージパフォーマンスや、模擬店、各種サークルの発表などが行われます。

2020年と2021年はオンライン配信で開催。現在もYouTube(チャンネル: 公立小松大学青松祭)で視聴できます。



青松祭2021(オンライン配信)

公立小松大学青松祭を
Youtube でチェック!



地域行事

5月の「お旅まつり」や10月の「どんどんまつり」など、地域の伝統行事やイベントにも積極的に学生が参加しています。また、海岸清掃ボランティアや福祉施設でのボランティアなど、学生の地域貢献・社会貢献活動も支援しています。



お旅まつり(2022)

大学生活を写真と動画で紹介

サークル紹介や学生のインタビュー動画などを大学ホームページに掲載しています。公立小松大学生のリアルなキャンパスライフを覗いてみましょう。



キャリアサポートセンター

1年次から、職業観の醸成を目指したキャリア教育や各種プログラムを提供し、段階的にキャリア形成を進めていきます。個別面談にも力を入れ、学生の希望や適性を見極めながら、自分にあった進路を選択できるよう支援します。



キャリアコンサルタントと就職担当教員がバックアップ

キャリアサポートセンターは、全キャンパスにあり、専任のキャリアコンサルタントが、学生の進路相談のほか、就職ガイダンスや面接練習会などの各種プログラムを企画・実施しています。また、公務員志望者向けに、公務員講座や現役公務員との座談会なども開催しています。

さらに、本学では各学科に就職担当教員を配置。個別面談を積極的に行い、学生の進路希望や就職活動状況を担当教員とセンターが共有し、個別の指導や対応につなげます。

キャリアデザインを促すカリキュラム設定

1年次の共通科目「キャリアデザイン・チーム論」では、グループワークを通じて大学での学びを自分の将来と結び付けて考えるとともに、職業意識を醸成し、自身のキャリアを描き始めます。

3年次、生産システム科学科は「学外技術体験実習」、国際文化交流学科は「インターンシップ」の授業で、それぞれ約1週間、企業等での実習を行っています。受入先は、ものづくり企業やサービス業、官公庁など多岐に渡ります。実践的な学びが進路選択の幅を広げます。

2年連続 就職内定率100%達成!

本学は令和4年3月、初の卒業生を輩出し、2年連続で就職を希望する学生全員が内定を得ることができました。就職先実績は、各学科のページでご確認ください。

Program 年間キャリアデザインプログラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	キャリア教育		就職活動	
年度目標	自己理解、地域経済の理解、職業人のイメージを醸成させ、充実した大学生活を自ら創造する	企業研究、インターンシップを通じ自分のキャリアを方向づけし、キャリア選択を明確化する	自分の未来に自信と覚悟を持ち、内定を獲得する	
前年度実績	キャリアデザインセミナー キャリア形成／自己理解／仕事理解／目標設定など			
		公務員ガイダンス 仕事内容／試験の動向／勉強方法／職員との交流会など		
		インターンシップガイダンス 学外技術体験実習／インターンシップ(各学科による正課授業として実施)		
		就職活動ガイダンス 就職活動の進め方／自己分析／企業研究／ES対策／面接対策／ビジネスメール／就活メイクなど		
		就職活動実践型セミナー 人事担当者による業界研究会／面接対策／グループディスカッション対策／先輩との交流会など		
	企業見学バス・若手社員との交流会		県内外の企業見学、工場見学、MEX金沢、e-messe kanazawa/バスツアーなど	
	個別キャリアカウンセリング		キャリアサポートセンターと担当教員が連携しながら、一人ひとりのキャリアを支援	

附属図書館



中央、栗津、末広の3キャンパスに設置し、学部学科の専門領域に応じた資料を取り揃えて学修を支援するほか、研究・学習に必要な文献や資料検索、調査などの相談にも対応しています。他大学図書館との相互協力と連携により、図書の取り寄せや文献複写サービスも行っています。

また、中央キャンパスは、図書館横に独立した自習室を設け、学生は夜間や土曜日の利用も可能です。



保健管理センター



中央、栗津、末広の3キャンパスに保健師または看護師が常駐し、軽いけがの応急手当や一時的な休養のほか、定期健康診断や健康相談、健康指導などを実施しています。

また、臨床心理士・公認心理師へ悩みや問題を相談できる「学生相談（予約制）」を定期的に開催し、学生が心身ともに健康な生活を送ることができるようサポートしています。学生相談は、学生だけでなく学生のご家族も利用できます。また、必要に応じて学校医に相談することもできます。

次世代考古学研究センター



国際交流センター



国際的に活躍できる人材の育成とともに、海外の協定校等との教育・研究の交流を促進し、地域の国際化推進の一翼を担います。交換留学の派遣や受入、留学に関する情報提供などのサポートなどを行っています。また、国際理解を深めるためのプログラムとして、英語や中国語での会話を楽しみながら異文化交流を深める「英語カフェ」や「中国語カフェ」を定期的に開催しています。

※交換留学や海外協定校については、P39「国際交流」を参照ください。

地域連携推進センター



企業等との受託研究・共同研究に向けた大学の研究シーズの発信やニーズとのマッチング、行政と連携した地域課題の解決など、産官学連携活動を展開しています。新事業の開発や人材育成、技術相談などのご相談には、産官学連携担当特任教授が対応し、研究開発プロジェクトの実施を支援します。

また、公開講座「こまつ市民大学」や社会人教育プログラム「ものづくり人材スキルアッププログラム※」などを開講し、広く学び直しの支援を行っています。

※総合コースは、文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）に認定されています。

初年度学納金等

学部			生産システム科学部	保健医療学部	国際文化交流学部 ※4
入学料 ※1	市内者 ※2		282,000円	282,000円	282,000円
	その他		423,000円	423,000円	423,000円
授業料	[年間]		585,800円	585,800円	585,800円
実習費 ※3	[年間] (教育実習費として)		50,000円	50,000円	—
初年度合計額	市内者		917,800円	917,800円	867,800円
	その他		1,058,800円	1,058,800円	1,008,800円

大学院			生産システム科学専攻	ヘルスケアシステム科学専攻	グローバル文化学専攻 ※4
入学料 ※1	市内者 ※2		282,000円	282,000円	282,000円
	その他		423,000円	423,000円	423,000円
授業料	[年間]		585,800円	585,800円	585,800円
実習費 ※3	[年間] (教育実習費として)		50,000円	50,000円	—
初年度合計額	市内者		917,800円	917,800円	867,800円
	その他		1,058,800円	1,058,800円	1,008,800円

学部生は上記のほか、保護者会費20,000円と同窓会費10,000円が必要となります。

※1 納入した入学料は返還いたしません。
 ※2 「市内者」とは、入学者本人又は保護者が、入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者を指します。
 ※3 実習費には施設管理費等が含まれています。実習衣、教科書代等は含まれていません。
 ※4 「海外語学研修」、「異文化体験実習」を履修する場合は、参加にかかる費用が別途必要になります。
 ※ 入学料・授業料等の減免制度があります。

奨学金

奨学金には、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金があります。いずれの場合も、奨学生となるには、主に学業成績が優秀で、経済的理由により学資支弁の困難な学生が対象となり、選考の上、決定されます。

① 日本学生支援機構

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また経済・社会情勢などを踏まえ、学生が安心して学べるよう、「給付」または「貸与」する制度です。給付奨学金の支援額については、国の政策「高等教育の修学支援新制度」に基づき定められています。(本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。)

日本学生支援機構ホームページURL <<https://www.jasso.go.jp/>>

② 地方公共団体 及び 民間奨学団体

募集案内などは、学内掲示などでお知らせします。

学生寮 [粟津キャンパス内]

入寮には、入寮希望の提出が必要です。新入生の入寮については3月上旬に募集し、希望者多数の場合は3月中旬に抽選します(入寮の状況によっては募集をしない場合もあります)。その他詳細は、粟津キャンパス学生課(TEL 0761-41-6700)へお問い合わせください。



構造	鉄筋コンクリート4階建て 1人部屋(居室面積 約21.8㎡)
設備	エアコン、冷蔵庫、キッチン(IH)、3点ユニットバス、ベッド、机、椅子、本棚、クローゼット、LANコンセント
対象・室数	本学学生 及び 交換留学生 全40室
入居費	寮費 月額 20,000円 / 共益費 月額 10,000円(光熱水費含む。) / 駐車場使用料 月額 3,000円(許可者のみ)
共用施設	洗濯室、談話スペース

公立小松大学の3つのキャンパスの特色や魅力を紹介します。

中央キャンパス

[全学部・国際文化交流学部]

共通科目と国際文化交流学部の講義を行う中央キャンパスは、JR小松駅から徒歩1分に位置し、立地の良さが魅力です。2024年には北陸新幹線金沢～敦賀間が開通し、新幹線小松駅が開業予定で、さらなる賑わいと交流人口拡大が期待されます。

駅前の複合ビル「こまつアズスクエア」内の2・3階がキャンパスとなり、キャンパス内には専門図書等を所蔵する図書館や、英語に親しみながら異文化理解を深める場として利用する「英語カフェ」などがあります。ほかにも、開放的なオープンスペース「学生交流ホール」は、ランチや自習、休憩スペースとしていつも学生で賑わっています。

また、学生にキャンパスから飛び出して地域で過ごしてほしいという思いから、中央キャンパスをメインキャンパスとする学年・学科には、授業がある月に2,000円分のランチ助成券を配布しています。学生は助成券を活用し、まちなかのいろいろな飲食店で昼食をとることができます。



キャンパスの中心にある学生交流ホール



図書館

末広キャンパス

[保健医療学部]

保健医療学部のメインキャンパスとなる末広キャンパスは、南加賀地域の広域医療の拠点である小松市民病院に隣接し、保健医療学部の学生・教員が医療現場の nearby で学び、研究に従事できる好立地です。周辺には、ウォーキングコースとしても人気のある緑豊かな末広緑地のほか、陸上競技場やテニスコート、プールなどを備える小松運動公園があり、授業の合間や放課後の時間に気軽にリフレッシュできる環境も充実しています。

また、末広キャンパスで学生や教職員の憩いの場となっているのが、食堂「健幸Kitchen すえひろ」です。管理栄養士監修の日替わりランチやスマートミールプレート、サラダ、単品小鉢、麺類、カレーなど、種類豊富で栄養バランスのとれたメニューが展開されています。食堂隣のカフェテラスでは、末広緑地公園の木々や田んぼの風景、時には小松空港に発着する航空機の姿も眺めることができます。



開放的な空間の食堂



研究実験棟
(2023年新設)

粟津キャンパス

[生産システム科学部]

粟津キャンパスは生産システム科学部の2年次から通うキャンパスで、南加賀地域のものづくり集積地の中心に位置します。日本を代表する企業を初めとしたものづくり企業と隣接する場で専門教育を学ぶという最適な立地です。

キャンパス内は、切削加工実験・実習室、製図室など生産システムに関わる設備が充実し、体育館や大講義室などはサークル活動の場として利用されています。エントランスに入ってすぐ横には食堂があり、リーズナブルでボリューム満点のメニューが揃います。

また、2022年に大学院棟を増設。1階は電子顕微鏡や実験装置のある実験室、2階には研究室を配備したほか、各種大型の実験装置も導入しました。新たな学び舎で、専門性の高い研究を行うことができる環境が整っています。



大学院棟(2022年新設)



研究室

キャンパスの中をのぞいてみよう

3つのキャンパスの中を360度カメラの画像で公開しています。スマートフォンやパソコンの画面上で、実際にキャンパス内を歩いているような気分を味わってください。



小松市紹介

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。

充実の交通ネットワーク

北陸の空の玄関口である小松空港があり、また、JR小松駅周辺は2024年の北陸新幹線金沢～敦賀間開業に向けて、南加賀のターミナルとしての整備が着々と進められています。JR、空港、高速道路と揃った充実の交通ネットワークは、小松の最大の魅力です。

豊かな自然・環境

北西部に日本海、東には霊峰・白山を望み、豊かな自然と美しい景観に恵まれています。木場潟から望む霊峰白山の眺望は県内随一と言われています。また、開湯1300年を迎えたあわづ温泉は、癒しの湯として広く親しまれています。



ものづくりのまち

小松市は、前田利常公の殖産興業政策によって「ものづくり」をなりわいとして発展してきた歴史があります。現在では、世界的な建設機械メーカーのほか多様な企業が立地しています。



息づく伝統と歴史

歌舞伎十八番の内「勸進帳」の舞台となった「安宅の関」があり、また、江戸時代から続くお旅まつりでは、「曳山子供歌舞伎」が繰り広げられることから、小松は「歌舞伎のまち」として知られています。



キャンパス周辺施設

まちなかには、学生の学びや憩いのための施設がキャンパス以外にも多数あります。

町家ハウス Doihara

中央キャンパスから徒歩1分、かつて歯科医院だった建物を改修した施設です。Wi-Fi完備。開館時間中、学生は自由に出入り可能です。



町家ハウス Ryusuke

老舗の茶舗や町家カフェ、雑貨店などが並ぶ龍助町の一角に建つ3階建ての施設です。キッチンやホールがあり、多彩な使い方が可能です。



小松市ビジネス創造プラザ

サイエンスヒルズこまつに隣接する施設で、教員・大学院生の研究室、国際文化交流学部の実習室などが入っています。



小松市團十郎芸術劇場うらら

中央キャンパスから徒歩3分に位置し、入学宣誓式や学位記授与式のほか、各種講演や講義で利用しています。



Campus Map



中央キャンパス

[全学部・国際文化交流学部]

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10
アクセス▶JR小松駅から徒歩約1分
※JR小松駅前の複合施設「こまつアズスクエア」2・3階



末広キャンパス

[保健医療学部]

〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1
アクセス▶JR小松駅から路線バスで
「市民病院」下車(所要時間約7分)徒歩約3分、
JR小松駅から徒歩約23分
※南加賀地域の広域医療の拠点である小松市民病院に隣接



粟津キャンパス

[生産システム科学部]

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3
アクセス▶JR粟津駅から徒歩約12分
※南加賀地域のものづくり集積地の中心に位置



公立小松大学

中央キャンパス 〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10 TEL 0761-23-6600 HP <https://www.komatsu-u.ac.jp/>
栗津キャンパス 〒923-8511 石川県小松市四丁町又1番地3 TEL 0761-41-6700
末広キャンパス 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1 TEL 0761-41-6800

